

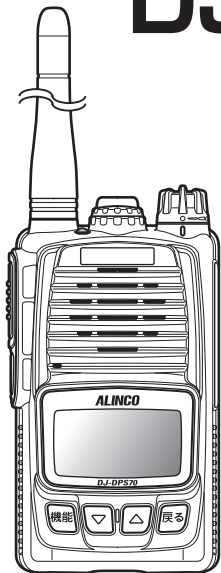
デジタル簡易無線機（総務省技術基準適合品）

AMBE 方式

無線局種別コード：3R（登録局）

DJ-DPS70

取扱説明書



<注意>

- ・本製品をご利用になるためには、無線局の登録申請及び開設申請をする必要があります。同梱の申請書類をご参照ください。
- 登録申請手続きをしないで運用されますと不法無線局開設により罰則を受けます。
- 必ず登録状が手元に届いたのを確認してからご使用ください。
- ・音声圧縮（符号化）方式 AMBE+2™ 以外の無線機とは通話できません。

アルインコデジタルトランシーバーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機の性能を十分に発揮させるために、この取扱説明書を最後までお読みいただくようお願いいたします。アフターサービスなどについても記載していますので、この取扱説明書は必ず保管してください。また、補足シートや正誤表が入っている場合は、取扱説明書と合わせて保管してください。

本機は日本国内専用モデルです。海外では使用できません。
This product is intended for use only in Japan.

インジケータ

緑色: 受信
赤色: 送信
水色点滅: 音量固定中
白フラッシュ: 緊急通報
黄フラッシュ: 電池電圧低下
紫フラッシュ: イヤホン断線
青フラッシュ: 呼出しあり(ベル機能 ON 時)
未読メッセージあり

PTT(送信)キー

押しながら話します。
ボタンを離すと受信待ち受け状態に戻ります。

短縮キー

よく使う機能を割り当てる
ことができます。

▼(ダウン)キー

チャンネル番号、各種設定
項目を合わせるときに押し
ます。
※長押し操作可能。

機能キー

押しすとセットモードになり
ます。
各種機能設定時に使用し
ます。

SP/MIC 端子

イヤホンマイクやスピーカ
マイクを接続する端子部
です。
※使用しないときは防水のた
め保護カバーを取り付けてく
ださい。

電源/音量ツマミ

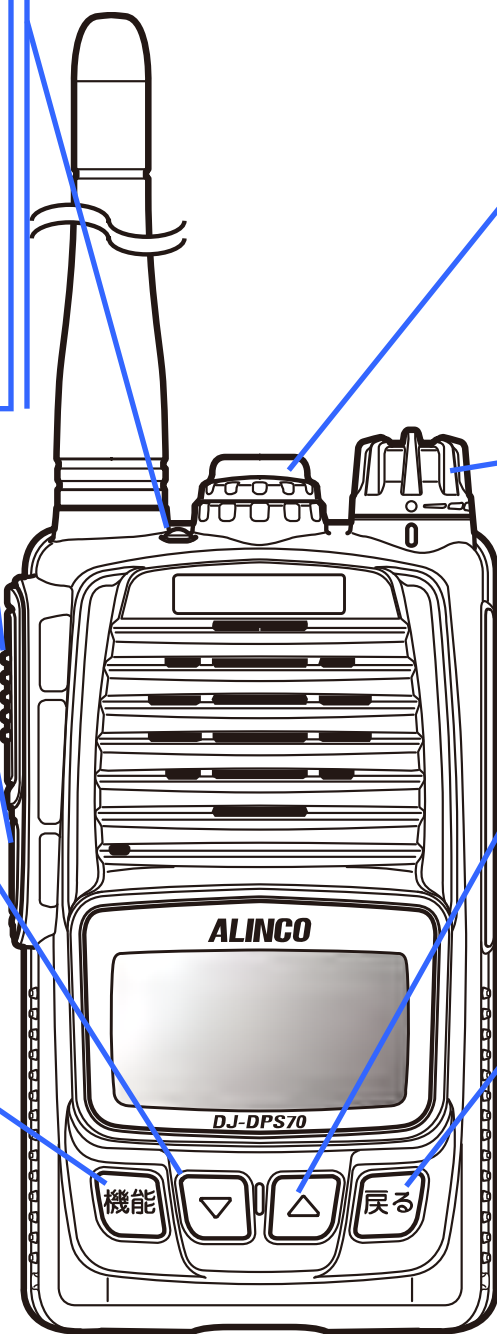
時計方向に回すと電源が入
ります。
さらに回すと音量が大き
く、反時計方向に回すと音
量が小さくなります。

▲(アップ)キー

チャンネル番号、各種設定
項目を合わせるときに押し
ます。
※長押し操作可能。

戻るキー

各種モードや設定値の変
更、個別通信時には通信
相手を切替えるときに使
用します。
※長押しするとキーロック
(誤操作防止設定)を設定
できます。
解除も長押し。



設定状態がわからなくなったときは・・・




リセット(初期化)をする。




- ① 電源/音量ツマミを反時計方向に回して電源を切ります。
- ② [戻る]キーと[短縮]キーの2つを押しながら電源/音量ツマミを時計方向に回して電源を入れます。
- ③ ディスプレイに『RESET』と表示されてから、もう一度[機能]ボタンを押すと、工場出荷状態(初期化)します。

◆◆◆安全上のご注意◆◆◆

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前にお読みください。

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損失を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表 示	表示の意味
 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

図記号	表示の意味
	△記号は、注意（危険・警告含む）を促す内容があることを告げるものです。 図の中には具体的な注意内容が描かれています。
	○記号は、行為の禁止であることを告げるものです。 図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。
	●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は AC アダプターをコンセントから抜く）が描かれています。

本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因にて通信などの機会を失ったために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

 **警告****■使用環境・条件**

この製品を使用できるのは、日本国内の陸上と周辺海域のみです。上空、国外では使用できません。



電子機器（特に医療機器）の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障・誤動作の原因となります。



内部から漏れた液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。



航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺、病院、介護・医療施設では絶対に使用しないでください（電源も入れないでください）。運行の安全や無線局の運用、放送の受信に支障をきたしたり、医療機器が故障・誤動作する原因となります。



この製品を人命救助などの目的で使用して、万一、故障・誤動作などが原因で人命が失われることがあっても、製造元及び販売元はその責任を負うものではありません。



この製品どうし、または他の無線機とともに至近距離で複数台使用しないでください。お互いの影響により故障・誤動作・不具合の原因となります。



この製品を何らかのシステムや電子機器の一部として組み込んで使用した場合、いかなる誤動作・不具合が生じても製造元及び販売元はその責任を負うものではありません。



指定以外のオプション品や他社のアクセサリ製品を接続しないでください。故障の原因となります。特にアンテナは指定のもの以外を使用すると電波法に違反します。



本機の故障、電波環境や使用場所の状況などから通信できなかったことで発生した、逸失利益に対する責任は負いかねますのでご了承ください。



機種名、数字や記号が書かれたラベル類は、絶対に剥がしたり、他のシールなどで隠したり、貼り替えたりしないでください。技術適合の基準から外れ、違法無線機とみなされることがあります。



無線局の登録状の有効期限は5年です。登録状に不備がある場合や登録状を取得しない運用はしないでください。不法無線局となり、1年以下の懲役または100万円以下の罰金を課せられることとなります。

■ トランシーバー本体の取り扱いについて



イヤホンを使用する場合、あらかじめ音量を下げてください。聴力障害の原因になることがあります。



トランシーバーは調整済みです。このトランシーバーをユーザーが改造、仕様変更することは法律で禁止されています。



布や布団で覆ったりしないでください。熱がこもり、ケースが変形したり、火災の原因となります。また、なるべく直射日光を避けて風通しの良い状態でご使用ください。



指定の条件以外で水をかけたり、水が入ったりしないようにご注意ください。火災・感電・故障の原因となります。防浸保護には条件があります。



水などでぬれやすい場所（風呂場など）では使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。



近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。

■ 充電器の取り扱いについて



ACアダプタはAC100V以外の電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。



充電器のACプラグのコードをタコ足配線しないでください。加熱・発火の原因となります。



ぬれた手で充電器の AC アダプターに触れたり、抜き差ししないでください。感電や故障の原因となります。



充電器の AC アダプターを、AC コンセントに確実に差し込んでください。AC アダプターの刃に金具などが触れると、火災・感電・故障の原因となります。



充電器や AC アダプターの刃に、ほこりが付着したまま使用しないでください。ショートや加熱により火災・感電・故障の原因となります。トラッキング現象による火災を防ぐため、コンセント周りは定期的に清掃してください。

■異常時の処置について



以下の場合、すぐ本体の電源を切って、バッテリーを取外し、充電器をご使用の場合は、AC アダプターを AC コンセントから抜いてください。異常な状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。修理はお買い上げの販売店、または当社サービスセンターにご連絡ください。お客様による修理は、法令により禁止されていますので、絶対にお止めください。

- 異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするとき
- 落としたり、ケースを破損したりしたとき
- 内部に水や異物が入ったとき
- AC アダプターのコードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）



雷が鳴り出したら、屋外での使用時には安全のため本体の電源を切り、充電器をご使用の場合は、AC アダプターを AC コンセントから抜いて、ご使用をお控えください。本製品は雷に対する保護や保証は致しておりません。






■保守・点検







本体や充電器のケースは、開けないでください。けが・感電・故障の原因となります。内部の点検・修理は、お買い上げの販売店または当社サービスセンターにご依頼ください。

注意

■使用環境・条件

-  テレビやラジオ、パソコンなどの電子機器の近くで使用しないでください。電波障害を与えたり、受けたりすることがあります。
-  湿度の高い場所、ほこりの多い場所、風通しの悪い場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
-  ぐらついた台の上や傾いた所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりして故障やけがの原因となることがあります。
-  直射日光があたる場所や車のヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所には置かないでください。内部の温度が上がり、ケースや部品が変形・変色したり、火災の原因となることがあります。電池やマイクなどのアクセサリも同様です。
-  調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。火災・感電・故障・変質・変形の原因となることがあります。

■トランシーバー本体の取り扱いについて

-  アンテナを誤って目などにささないようにしてください。
-  イヤホン / マイクロホン端子には指定のオプション以外は接続しないでください。故障の原因となることがあります。
-  長期間で使用にならないときは、安全のため必ず本体の電源を切り、バッテリーを取外し、充電器をご使用の場合は AC アダプターを AC コンセントから抜いてください。
-  アンテナを持って本体を振り回したり、投げたりしないでください。けがや故障、破損の原因になります。



カバーやツマミを無理に引き抜いたりしないでください。故障の原因となります。



ベルトクリップを使用する際は、体の横、または背中に固定して、イヤホンマイクは引っかからないようになるべく背中を通して、余分な長さを束ねてください。かがんだときにプラグやアンテナにストレスが掛からないようにご注意ください。

■充電器の取り扱いについて



充電器の AC アダプターを抜くときは、コードを引っ張らないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。必ず AC アダプターを持って抜いてください。



熱器具に近づけないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

■保守・点検



お手入れの際は、安全のため必ず本体の電源を切り、バッテリーを取外し、充電器をご使用の場合は、AC アダプターを AC コンセントから抜いてください。



汚れた場合は柔らかいきれいな布で乾拭きしてください。ベンジン、シンナー、アルコール、洗剤などを使うと外装や文字が変質する恐れがあります。美観上以外にトランシーバーを長く正常にお使いいただくために定期的な清掃は大変有効です。

■運転中の無線機の使用について



運転中に携帯型無線機を手を持って操作・運用したり、無線機の表示部を眺め続けたりしないでください。このような行為は運転中の携帯電話使用と同様に罰せられます。無線機の運用は必ず安全な場所に停車してから行ってください。



外部に音が聞こえないような状態にして運転しないでください。外部アンプや、大型スピーカーをつないで周りの音が聞こえないような大音量で受信したり、耳を完全に覆うタイプのヘッドホンを使ったりすると罰せられることがあります。一部の地方自治体では運転中にイヤホン・ヘッドホン類を使用すること自体を規制していますので、ご不明な点は最寄りの警察署などにお尋ねください。



無線機をベルトクリップなどで体に装着して運転しないでください。アンテナや付属品が引っ掛かり、運転の支障となることがあります。そちらに注意を引かれると前方不注意の原因となります。

■耐塵防浸性能について

本機は設計段階で外郭保護等級 IP67 規格の耐塵防浸試験に合格しており、適合するアクセサリを使って防水キャップやアンテナ、電池パックなどを正しく装着するなど指定の条件を満たしていれば、水周りや埃っぽい環境の中でお使いになっても故障しにくい構造になっています。但し強い風圧や流水のように水圧が掛かる環境での使用は保証していないので、流水で洗うと故障します。金属性、油性、酸や塩分・化学物質を含む等、特殊な粉塵や液体が製品に使われている素材や部品に付着すると腐食、劣化や故障の原因になりますが、保証の対象外となります。また、外郭保護性能の有無にかかわらず無線機は汚れたり濡れたりした時はすぐに埃を払い、乾いた布で拭くなどのメンテナンスを心がけていただくと永く正常な状態でお使いになれます。保護に使われているカバーやシールドの素材は経年劣化のため変質し、保護性能が低下します。弊社の外郭保護性能保証は、製品の保証期間と同じとさせていただきます。尚、耐塵、防浸等の言葉が直感的に分かりにくいことから、カタログや説明書の文中では「防塵」「防水」などの言葉で表現する場合があります。

◆◆◆目次◆◆◆

安全上のご注意	2
目次	9
使用前のご注意	11
機能と特徴	13
1. お使いになる前に	14
付属品の確認	14
付属品の取付け方	15
2. 本体の名称と動作	21
3. 基本操作	23
4. 通信前のご注意	25
5. 通信方法	26
ユーザーコード通信	26
個別通信	29
6. 便利な機能	33
キーロック	33
モニター機能	33
バッテリーレベルアイコン	34
秘話通信	34
強化秘話通信	34
呼び出し用チャンネル CH15	35
プライベートチャンネル機能	35
スキャン機能	35
緊急通報機能	36
緊急動作	36
ショックセンサー機能	37
通話録音機能	38

短縮キー動作	39
子機間通話禁止機能.....	40
受信音質調整機能.....	41
受信低下通知機能.....	41
受信音量一定化機能.....	41
ノイズキャンセル機能.....	42
ノイズ抑制機能.....	42
VOX 動作.....	43
デュアルオペレーションモード.....	44
ショートメッセージ機能	45
リセット.....	45
7. セットモード	46
セットモード一覧.....	46
セットモード基本操作.....	48
セットモード	49
8. 保守・参考.....	70
故障とお考えになる前に	70
9. オプション一覧	73
10. 定格.....	74
11. 付録.....	75

◆◆◆ 使用前のご注意 ◆◆◆

■電波法上のご注意

- 本機はデジタル簡易無線登録局です。使用するにはあらかじめ、登録申請や開設届の提出が必要になります。
- 他局の通信を妨害したり、傍受した内容を他に漏らしたり、傍受した内容を盗用することは法律で固く禁じられており、違反すると罰せられます。
- 本機は日本国の河川湖沼を含む陸上、領海と接続水域、及び排他的経済水域内でお使いになれます。上空、海外での使用は違法で罰せられます。
- 住所や名前が変わったり、廃局したり、他人への貸し出しをするときも届け出が必要です。詳しくは管轄の総合通信局におたずねください。

■航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、病院や医療介護施設、無線中継所など無線機器の使用が制限されている場所で使うと罰せられることがあります。

■本機を複数台でご使用いただく場合、至近距離（10m程度が目安）で同時に通信しないでください。異なるチャンネル同士であっても、強い電波が影響し合って通話ができなくなることがあります。

■本機を分解、改造したり、本体背面に貼り付けてある証明ラベルを剥がして使用することは法律で固く禁じられています。

■高温、多湿、直射日光の当たるところ、ほこりの多い場所は避けてお使いください。

■通信のできる距離は周囲の状況によって大きく異なります。本機に採用されている電波は直進性が高く、間に構造物や地形などの障害物があると通信できる距離が短くなります。

■販売店で事前にプログラミングされている場合、本書に書かれた機能の一部は制限されていることがあります。詳しくは、プログラミングした販売店にお問い合わせください。

- 本体背面及び上面に貼られている黒いシールは剥がさないでください。防水性能を維持できなくなります。
- 本機の秘話機能は第三者に通信内容が聞かれる可能性を低くするものであり、無線の性質上、通信の秘匿性能を保証するものではありません。
- 本機は米国 DVSI 社の開発した AMBE(Advanced Multi-Band Excitation) 方式による音声圧縮技術を採用し AMBE+2™ を使用した他のデジタル簡易無線 (種別コード: 3R) との互換性を確保していますが、AMBE+2™ 以外の音声圧縮技術 (RALCWI 方式など) を使用したデジタルトランシーバーとの互換性はありません。

The AMBE+2™ voice compression software included in this product is protected by intellectual property rights including patent rights, copyrights and trade secrets of Digital Voice Systems, Inc. The user of this software is explicitly prohibited from attempting to decompile, reverse engineer, or disassemble the object code, or in any other way convert the object code into a human-readable form.

This software is licensed solely for use within this product. US Patent Nos. #8,595,002, #8,359,197, #8,200,497, #6,912,495, #6,199,037, #5,826,222, #5,754,974, #5,715,365, and #5,701,390.

◆◆◆機能と特徴◆◆◆

- 改正電波法準拠で2022年12月1日以降も使えるデジタル方式(DCR-Digital Convenience Radio)トランシーバーです。
- 業務でも、レジャーでも、目的を選ばず使えます。
- パワフルな5W出力により、より広い通話エリアを確保できます。
- 秘話通信により32,767通りから選べるコードが合致しないと通話ができない高い秘話性をもっています。また、弊社独自の強化秘話機能を使うことで、更に秘匿性を高めることができます。
- 通常のユーザーコード通信に加えてグループ通信や相手を選択して通話することが可能な個別通信に対応しています。
- 大音量700mWのオーディオ出力、ベル、キーロック、子機間通話禁止、バッテリーセーブ、VOX、オートパワーオフ、各種ビープ音やマイク感度の設定などはもれなく採用しました。
- 録音機能やノイズキャンセルに加えて、音声ガイダンスや短縮キーによる機能など無線機をより便利にお使いいただける多彩な機能を搭載しています。
- ほこりが多い環境や水回りの仕事に強いIP67相当の耐塵防浸仕様です。

1

お使いになる前に

..... 付属品の確認

本製品には以下のものが付属しています。ご使用前に確認してください。

- 本体
- バッテリーパック
EBP-98(7.2V 2200mAh) : A 仕様
EBP-99(7.2V 3200mAh) : B 仕様
- シングル充電スタンド EDC-214R
- AC アダプター EDC-215
- ベルトクリップ (ビス 2 本付) EBC-46
- ハンドストラップ
- ミドルアンテナ EA-247
- 取扱説明書 (本書)
- 申請書類一式
- 保証書

注意 保証書は購入店名、購入日の記入 (または専用ステッカー貼付けなど) と、記載の製造番号をお確かめの上、本書と一緒に大切に保管してください。

記載がないときは販売店発行のレシート、納品書など購入店と購入日が証明できる書類と一緒に保存してください。

購入店と購入日が証明できない場合は製品保証が無効となりますのでご注意ください。

弊社純正、または弊社が認めたアクセサリ以外をご使用になって起きた不具合は保証期間の有無を問わず有償修理になります。他の無線機メーカー製オプション品が使えるかどうかは検証していないため、ご使用は推奨できません。アクセサリ専門メーカーの製品であれば、そのメーカーにお問い合わせください。

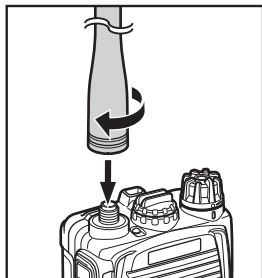
他社製アクセサリに起因する不具合は、弊社で修理や改造で対応することはできません。

..... 付属品の取付け方

■ アンテナの取付け方

アンテナの根元を持って時計方向（右）に回転が止まるまで回します。
外すときは反時計方向（左）に回します。

注意 市販されているアンテナ端子変換用コネクタには、この製品に適合しない形状のものがああります。変換コネクタが正しく接触しているか確認してからお使いください。



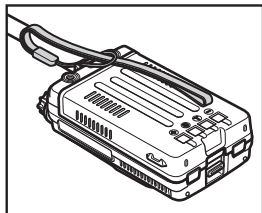
参考

■ 外部アンテナの接続

市販のデジタル簡易無線機用アンテナを接続することができます。アンテナコネクタは SMA 型です。接続ケーブルや取付け金具を含めたアンテナのご購入は、無線機販売店にご相談ください。標準付属品のホイップアンテナのスペアも販売店でお求めになれます。使用可能なアンテナ型式については弊社ホームページで確認できます。

■ ハンドストラップの取付け方

本機背面上部にあるストラップ用の通し穴に取付けます。

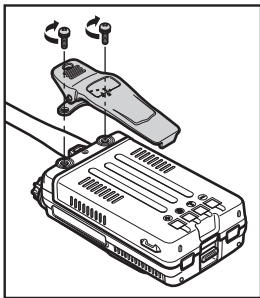


■ ベルトクリップの取付け方

ベルトクリップをネジで本体の背面部のねじ穴に合わせて取付けます。
(+ ドライバー No2 が必要です)

注意 定期的に、ネジにゆるみがないか点検してください。ベルトクリップは消耗品です。スペア部品として販売していますので、お買い求めの際は販売店にご相談ください。標準付属品以外のネジを使うと無線機本体が破損します。絶対に規格以外のネジは使わないでください。

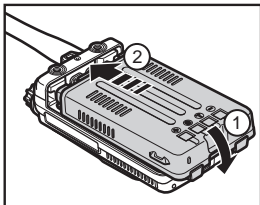
ベルトクリップ EBC-46
(ベルトクリップ 1 個、ネジ 2 本)



■ バッテリーパックの取付け / 取外し

● バッテリーパックの取付け方

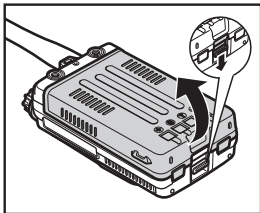
バッテリーパックを本体のツメに合わせ、バッテリーパックを矢印の方向に押し込んで「カチッ」と音がするまでしっかりと固定します。
ロックレバーが固定されているか確認します。




● バッテリーパックの取外し方



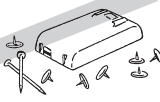
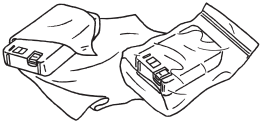

本体のロックレバーを押してバッテリーパックをスライドさせて取外します。

注：スライドさせる際は、指や爪などを傷めないよう、注意してください。



■バッテリーパックのショート防止

 バッテリーパックを持ち運ぶときは、十分ご注意ください。ショートして発熱、発火の原因となることがあります。

 <p>金属物を一緒にしてカバンなどに入れないでください。</p>	 <p>金属メッキしている布に包んだり、内側が金属加工のカバンなどに直接入れたりしないでください。</p>	 <p>小さな金属片に端子を触れさせたり、電気を通す物がある場所に置いたりしないでください。</p>
 <p>カバンなどに入れるときは、電気を通さない布や袋で包んでください。</p>		 <p>電気を通さない物などを敷いてから、置いてください。</p>

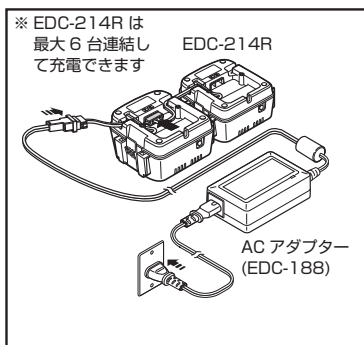
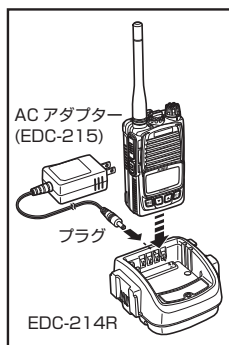
注意

- ・バッテリーパックは出荷時には十分に充電されておりません。お買い上げ後にフル充電してからご使用ください。
- ・充電は 10℃～45℃の温度範囲内で行ってください。
- ・バッテリーパックの改造、分解、火中・水中への投入は絶対にしないでください。発熱・破裂などの可能性もあり、大変危険です。
- ・バッテリーパックの端子は絶対にショートさせないでください。機器の損傷や、バッテリーの発熱による火傷の原因となることがあります。
- ・必要以上の長時間の充電（過充電）はバッテリーの性能を低下させますのでお止めください。
- ・バッテリーパックの保存は、-10℃～45℃の温度範囲で湿度が低く乾燥した場所を選んでください。それ以外の温度や極端に湿度の高い所では、バッテリーの液漏れや、金属部分の錆の原因になりますので避けてください。
- ・バッテリーパックは消耗品です。所定の時間充電しても使用時間が著しく短い場合は寿命がきたものと思われます。新しいものにお取替えください。
- ・バッテリーパックはリサイクル資源です。再利用しますので、廃棄しないでバッテリーパック回収協力店へご持参ください。

■ リチウムイオンバッテリーパックの充電方法

充電スタンドと AC アダプターを接続してリチウムイオン充電電池パックを充電します。

- 注意** ・ リチウムイオン充電電池パックをお買い上げいただいたとき、または長い間使用しなかったときは、フル充電してからお使いください。専用充電スタンドでしか充電できません。
- ・ 充電する際には電源を切ってください。充電しながらの運用は正常に動作しなかったり故障の原因となります。



充電スタンドのランプが赤色に点灯し、充電が完了するとランプが緑色になります。充電時間は空のバッテリーパックをフル充電する場合、EBP-98 は約 3 時間 / EBP-99 は約 4 時間です。充電時間は周囲の温度で変動します。充電スタンドのランプが赤色に点滅した場合は正常に充電が完了していません。無線機の電源が入っている場合は電源を切って充電するか、電池を無線機から外して電池単体で充電してください。

非常時の備蓄用等で電池を入れた状態で長期保管するときは、週に一度は電池を抜いて液漏れや放電していないことを確かめてください。

待機電流のため電池は徐々に放電します。

DJ-DPS50、連結用充電スタンド EDC-196R と AC アダプター EDC-175 をお使いの場合、EDC-214R を接続して DJ-DPS70 を充電できます。但しこの場合は、充電スタンドは最大で 4 台しか連結できません。新しい AC アダプター EDC-188 をお求めになれば、EDC-196R と EDC-214R は最大 6 台まで自在に組み合わせて充電できます。

※電池に関する重要な説明です。このページは必ずお読みください

注意 長時間充電したままにしておくと、バッテリーパックを劣化させることがあります。

無線機を付けた状態でうまく充電できない場合は、電池単体で充電してみてください。別売の連結充電用 AC アダプター (EDC-188) を使用した場合、充電スタンド (EDC-214R) を最大 6 台連結して充電できます。

バッテリー及び充電器の充電端子はときどき乾いた綿棒等で清掃してください。汚れていると接触不良の原因となります。(この際に充電端子を変形させないようにしてください。)

弊社のバッテリーパックは対応する弊社製品専用です。対応の純正充電器で充電できます。市販や他社製の充電器やアダプター等で充電すると電流量の違いなどから故障や事故の原因となるので絶対に充電しないでください。

充電中、必ず本機の電源スイッチを切ってください。本機の電源が入ったままで充電すると、充電器の赤ランプが点滅し充電できないことがあります。

長時間使わないときは、バッテリーパックが空に近いときだけ 1 時間程度継ぎ足し充電をしてから本体から外して保存してください。

※バッテリーパックを長期間使わずに保存しておくと、状態にもよりますが劣化して使えなくなることがあります。



参考

リチウムイオンバッテリーを保存するには 50%程度の充電状態が最適と言われています。最も劣化しやすいのは放電状態、次に満充電状態での保存です。

また、リチウム系充電池は使用・保存状態の如何に関わらず、数年で容量が大幅に抜けてしまう性質を持っています。3 年程度を目安にバッテリーパックの交換をお勧めします。

重要 ■ EBP-98、EBP-99 は無線機に正しく装着された場合にのみ IP67 相当の耐塵防浸保護が機能します。故障に直結するのでバッテリーパックだけの状態では、絶対に水に濡らさないでください。

2

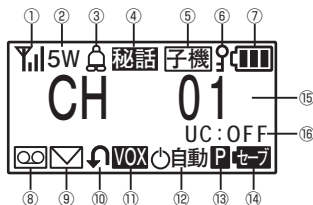
本体の名称と動作

■ 本体



名称	機能	
PTT キー	押すと送信します。離すと受信に切り替わります。	
短縮キー	よく使う機能を割り当てることができます。(P.39)	
インジケータ	緑点灯: 受信中 赤点灯: 送信中 水色点滅: 短縮キーで音量固定中 白フラッシュ: 緊急通報送信または受信 黄フラッシュ: 電池電圧低下 紫フラッシュ: イヤホン断線検出 青フラッシュ: 呼び出しあり(ベル機能動作時) / 未読メッセージあり	
キーボード	機能キー	押すとセットモードになります。 セットモードでは設定階層が深くなります。
	戻るキー	セットモードで設定階層が浅くなります。個別通信時には個別→グループ→全局と通信相手を切り替えます。 長押しでキーロック設定 / 解除ができます。
	▼ / ▲ キー	チャンネル番号、各設定項目の UP/DOWN

■ディスプレイ表示



説明		
①		受信した電波のレベルに応じて四段階に点灯します。送信時には送信マークになります。
②	5W	送信出力レベルに応じて表示します。(P.54)
③		ベル機能設定時に点灯します。(P.57)
④	秘話	秘話通信設定時に点灯します。(P.34)
⑤	子機	子機間通話禁止機能で子機設定時に点灯します。(P.40)
⑥		キーロック動作時に点灯します。(P.33)
⑦		バッテリー残量を表示します。
⑧		未聴の録音データがある場合に点灯します。
⑨		未読のショートメッセージがある場合に点灯します。
⑩		コールバック機能設定時に点灯します。(P.55)
⑪	VOX	VOX 機能設定時に点灯します。(P.43)
⑫		オートパワーオフ機能設定時に点灯します。(P.61)
⑬	P	プライベートチャンネル機能動作時に点灯します。(P.35)
⑭	セーブ	バッテリーセーブ機能設定時に点灯します。(P.61)
⑮	CH 01	送信・受信チャンネル番号(周波数)や各設定内容を表示します。
⑯	UC:OFF	ユーザーコードや自局 ID、グループを表示します。

注意 ・セットモード「Sメーター表示」(P.59)をオンに設定すると①は受信時に一番左のアンテナマークのみ表示されるようになります。
また、⑧～⑫のアイコンは表示されなくなります。

3

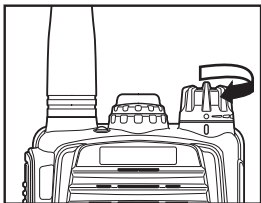
基本操作

■ 電源を入れる

電源 / 音量ツマミを時計方向にカチッと回して電源を入れます。



- キー操作の表記について本書の説明で「押します」とはキーを押した後すぐに離すことを意味します。「約〇秒間押す」「長く押す」「長押しする」とは機能が動作するまで押し続けることを指します。



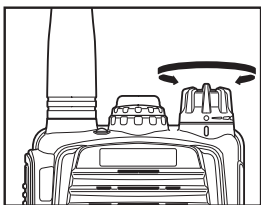
■ 音量を調整する

電源 / 音量ツマミを時計方向に回すと音量が大きくなります。

受信しながら適切な音量に調整してください。

イヤホンで聞くときはボリュームを最小にしておいて、受信しながらゆっくりボリュームを上げてください。

ツマミを回転するとボリューム表示します。



■ チャンネルを合わせる

待受画面で「▼/▲」キーを押しCH01～CH30の中から交信相手と同じチャンネルを選択します。

キーを押し続けると連続してチャンネルが切替わります。



■受信する

信号を受信すると、受信した信号レベルに応じてディスプレイのアンテナが表示され、交信条件を満たしているとき音声聞こえるようになります。個別通信のときは相手局の個別 ID が表示されます。

重要 下記のような、インバーター内蔵の電気製品は受信障害になることがあります。

- *LED 照明
- *IH 式調理器具
- *ソーラー発電装置
- *DC-AC インバーターなどの車載機器

■送信する

「PTT」キーを押すと、インジケーターが赤色に点灯し送信状態になります。「PTT」キーを押しながら、マイクに向かって話します。マイクと口元は 5cm ほど離してください。

「PTT」キーを離すと受信待受状態に戻ります。

本機は送信を開始してから相手に音声聞こえるまで若干の遅延があります。「PTT」キーを押したら一呼吸置いてからお話ください。

- 重要**
- ・マイクに向かって話すとき、声が大きすぎたり口元が近すぎたりすると、送信音が歪み（ひずみ）ますのでご注意ください。
 - ・本機は防水を施すため、内蔵マイクの手前に特殊な布製素材を装着しています。このため、内蔵マイクを使用したときと外部マイク等のアクセサリーを使用したときで若干音質が変わって聞こえる場合がありますが、異常ではありません。
 - ・マイク穴をステッカーやラベル、手や指でふさがないようにください。声を拾わなくなります。

4

通信前のご注意

全てのデジタル方式トランシーバーには電波法に基づく下記の制限が設けられています。

キャリアセンス

通信中のチャンネルで送信操作を行うと、表示と音で警告し、送信できなくする機能です。ディスプレイに「CH 使用中」と表示されます。

先に通話中の人に妨害を与えないために設けられています。

・各種の選択通話設定（ユーザー・個別・秘話等）がされているとそのチャンネルが使われているかどうか分からず、キャリアセンスに気づかないことがあります。アンテナアイコンが表示されているときは声が出ていなくても先に通話中の人がいると判断できます。

送信時間制限装置

1 回の送信で連続して送信できる時間は、「5 分以内」と電波法で定められています。

連続した送信が 5 分を超えると自動的に送信を停止し、停止後 1 分間は送信できなくなります。

チャンネルの独占や無駄な長話を防いでなるべく多くの方がチャンネルを共有して使えるようにするために設けられています。

送信時間制限が働く前に警告音を鳴らすことができます。(P.58)

また、送信残り 3 分前からディスプレイに残り送信時間を表示します。

通信の互換性について

本機は音声圧縮方式 AMBE + 2™ を採用した他社製の DCR 無線機と基本の音声通信（ユーザーコード・デジタル秘話通信を含む）はできますが、RALCWI 方式の無線機とは通話できません。AMBE 方式を採用する弊社製 DCR 同士では、機種が異なっても個別通信などの各種通信機能は共通で使えるように設定されています。

5

通信方法

本機で使用できる通話モードの概要と操作方法を紹介します。

重要 本機の基本操作

P.46 のセットモードの項目に、本機が持つ機能のカスタマイズ方法が記載されています。次の項目以降、「セットモードで〇〇を設定します」という説明がひんばんに出てきますが、全てこの操作が基本になるので、ここで使い方を憶えてください。以降、機能キーを押してセットモードに入ります、のような長い説明は省略します。

- ①電源を入れ、通話したいチャンネルに合わせます。
- ②機能キーを押します。「セットモード」が表示されます。
「▼/▲」キーを押して「〇〇設定」「〇〇機能」のようなメニューを選びます。
- ③もう一度「機能」キーを押すとサブメニュー画面になります。
もう一度「機能」キーを押すとその項目の設定値や機能の選択ができる設定画面になります。
- ④「▼/▲」キーで設定を切り替えます。項目によっては「機能」キーを押すこともあります。
そのようなときは画面に「変更」や「桁移動」のように説明が表示されます。
- ⑤「戻る」キーを押すと新しい設定を保持して、ひとつ前の画面に戻ります。
「PTT」キーを押すと確定して待受画面に戻ります。

※次のユーザーコードの手順を読みながら、この基本操作に慣れてください。セットモードに項目がない場合は「拡張セットモード」がオフになっています。

P.48 の説明に従い拡張セットモードをオンにしてください。

..... ユーザーコード通信

セットモードの「個別設定」にて「個別通信動作」でオフを選択しているとき、この通信方式になります。

ユーザーコード通信は、同じチャンネルに合わせていても、ユーザーコードが一致している人同士だけでしか通信できない方式です。

ユーザーコードはセットモード「ユーザーコードの設定」によりオフ、001～511の中から選ぶことができます。

通話したいグループのメンバー全員に同じコードを設定してください。



参考

ユーザーコードとは特定小電力トランシーバーの「グループトーク」、業務やアマチュア無線の「トーンスケルチ」と似た機能です。秘話ではありません。初期状態では設定したユーザーコードは呼び出し用のCH 15を除く全てのチャンネルに共通して登録されますが、セットモードで各チャンネルに個別に割り当てすることもできます。

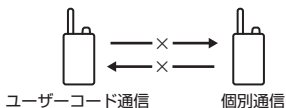
■ユーザーコード通信の手順

- ①チャンネルを合わせます。
- ②「機能」キーを押します。「▼/▲」キーを押して「通信設定」を選びます。
- ③もう一度「機能」キーを押して「ユーザーコード」を選びます。もう一度「機能」キーを押すと図のような表示になり、3桁のコードが選べます。
- ④「機能」キーを押すと桁が変えられます。「▼/▲」キーで好みの数字に合わせます。
- ⑤「戻る」キーを押すとひとつ前の画面に戻ります。「PTT」キーを押すと確定して通信画面に戻ります。UCと設定したコードが運用画面に表示されます。
- ⑥ユーザーコード画面で000とするとオフが表示され、ユーザーコード通信をしなくなり、UC：OFFが運用画面に表示されます。「戻る」キー長押しでもオフにできます。



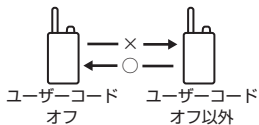
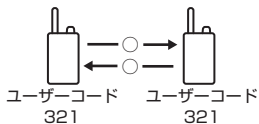
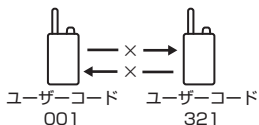
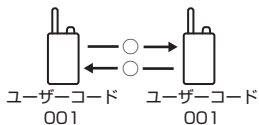
注意

ユーザーコード通信と個別通信では通話できません、どちらかの通話方式に統一してお使いください。



注意 ユーザーコード通信・個別通信それぞれの通信モードは同じモード同士でしか通話できません。お互いの通信モードを合わせてご利用ください。

ユーザーコード通信



個別通信

セットモードの「個別設定」→「個別通信動作」でオンを選択しているとき、この通信方式になります。

個別通信では、ユーザーコードが一致している複数の交信相手を個人 ID、グループ、全員のように指定して呼び出すことができます。
(自分の ID・グループはセットモードで変更できます。)

■ 個別通信の設定

- ①チャンネルを合わせます。
- ② P.26 の説明に従いユーザーコードを設定します。
- ③ セットモード「個別設定」の「個別通信動作」をオンにします。
- ④ 同じセットモードの「自局 ID」を選び、自分の ID 番号を登録します。
- ⑤ 同じセットモードの「自局グループ」を選び、自分のグループ番号を登録します。
- ⑥ 同じセットモードの「通信相手選択」で通信相手を選択します。
- ⑦ 待受画面で「戻る」キーを押すことで個別、グループ、全局の順に通信相手を切り替えます。

[個別通信動作]

オン

-▼▲- || -戻る-

変更 || 完了

※設定方法は P.50 にも記載がありますので合わせてご覧ください。

この手順を繰り返して、ユーザー全員の無線機の ID とグループ番号を登録します。



参考

- ・セットモード「個別設定」の「▼/▲キー動作」で「通信相手選択」を設定すると待受画面で「▼/▲」キーを押して相手局を選択できます。(P.51) チャンネルを固定して使用する場合に便利です。
- ・「個別設定」の「個別呼出切替」「グループ呼出切替」「全局呼出切替」で個別通信を受信したとき、通信相手を指定した時間だけ受信した相手局と同じに切替る設定ができます。(P.50)

注意

- ・個別通信をするには共通のユーザーコードを設定しますが、個別通信動作をオンにするとユーザーコードを設定しただけの無線機とは通話ができなくなります。どちらかに統一してお使いください。
- ・セットモード「表示設定」の「周波数表示」をオンに設定している場合「▼/▲キー動作」で「通信相手選択」を選択しても通信相手の変更ができません。

■個別 ID 表示のとき

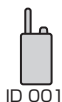
セットモード「個別設定」の「通信相手選択」で
 選択した個別 ID の無線機を呼び出せます。

- 最大で 200 の個別 ID が設定できます。
- 同じ個別 ID を複数の人に割り当てすることもできます。
 この場合はグループ呼び出しのように
 同じ個別 ID の人全員をまとめて呼び出します。



相手局の個別 ID

<例>
 ID 番号 004 の人を呼び出したいとき



■ グループ表示のとき

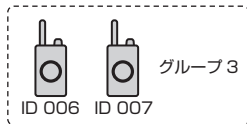
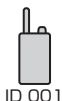
セットモード「個別設定」の「通信相手選択」で選択したグループの無線機を呼び出せます。

G01 ~ G10 の 10 組、設定できます。



グループ番号

<例>
グループ 3 番のメンバーを
呼びたいとき

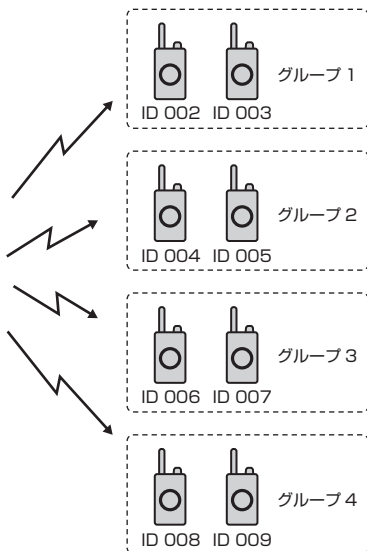


■ 全局表示のとき

全員を呼び出せます。



<例>
全員を呼び出したいとき

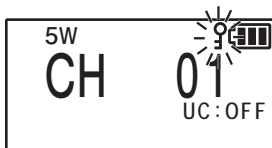


6

便利な機能

..... キーロック

使用時に誤ってキーが操作されることを防ぐ機能です。「戻る」キーを0.5秒以上押し続けるとキーロックが設定され、ディスプレイに「鍵アイコン」が点灯します。キーロック時、「PTT」キー、「短縮」キーの一部、「緊急通報機能」、電源の入/切の操作のみが可能です。キーロックを解除するときにはもう一度「戻る」キーを0.5秒以上押し続けて「鍵アイコン」を消してください。



..... モニター機能

「短縮」キーにモニター機能を設定している場合、「短縮」キーを押している間、設定したユーザーコードに関わらず音声をモニターする機能です。

注意 秘話通信を設定している信号をモニターしても「ギャラギャラ」とノイズのような音が鳴り続け通話内容を聞き取ることはできません。モニター動作中に出るザーという音は時々途切れることがあります。イヤホンやスピーカーの接触不良と誤解することがありますが、異常ではありません。

..... バッテリーレベルアイコン

本機のディスプレイに表示されるバッテリーアイコンは、バッテリーの残量を示します。バッテリーアイコンの中身が空になっているときは、バッテリーパックを交換するか、充電してください。



- バッテリー残量が十分にあります。
- バッテリー残量が少し減りました。
- バッテリー残量が減っています。充電をおすすめします。
- バッテリー残量が少なくなっています。すぐに充電してください。

..... 秘話通信

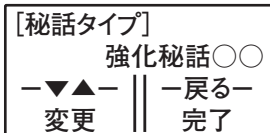
秘話コードの一致した無線機間でのみ交信できる機能です。セットモード「通信設定」の「秘話コード」で32,767通りの秘話コードをお使いいただけます。



注意 秘話コードが一致しないときは「ギャラギャラ」とノイズの様な音が鳴り続けます。

..... 強化秘話通信

セットモード「通信設定」の「秘話タイプ」で設定します。秘話コード設定で秘話通信が設定されている場合に秘話タイプから強化秘話を選択することで秘話通信機能を強化して秘匿性を高める機能です。通常の秘話コード32,767通りとは別に15通りの秘話タイプを追加することで、491,505通りの秘話コードとなります。通常の秘話コードを一致させた上で、強化秘話を一致させないと通信はできません。




注意 ・標準秘話は弊社製DJ-DPS50、DR-DPM50及び他社製デジタル簡易無線機と同じ秘話キーにて交信できますが、強化秘話はこれらの無線機とは交信できません。

..... 呼び出し用チャンネル CH15

CH15 は呼び出し用チャンネルとなっており、ユーザーコード通信・個別通信・秘話通信、ショートメッセージなど特殊な通信はできません。また、このチャンネルは呼び出し用チャンネルですので通話相手を呼び出した後は別のチャンネルに移ってから通話してください。

..... プライベートチャンネル機能

特定のチャンネルをプライベート CH 呼出として設定することで、よく使うチャンネルとの切替を簡単にします。セットモード「各種動作設定」の「短縮キー動作」をプライベート CH に設定し、同じセットモードの「プライベート CH 設定」にてよく使うチャンネルを設定してご利用ください。

「短縮」キーを約 0.5 秒押し続けていると設定された、プライベートチャンネルに移行します。（このときディスプレイにアイコン  が点灯します）もう一度「短縮」キーを押し続けると元のチャンネルに戻りプライベートチャンネルを解除します。



..... スキャン機能

自動的にチャンネルを切り替えて通話の行われているチャンネルを探索することをスキャンと呼びます。セットモード「各種動作設定」の「短縮キー動作」でスキャンを設定しているときに、「短縮」キーを長押しすることでスキャンを開始します。

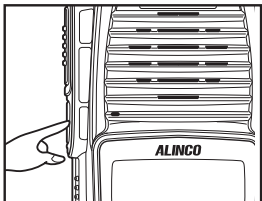
信号を受信するとスキャンは自動的に止まり、同じセットモードの「スキャンタイプ」で設定した条件で再開します。スキャン方向は「▼/▲」キーで変更できます。スキャン中は画面右下に **スキャン** と表示されます。

同じセットモードの「スキャン CH 設定」でチャンネルごとにスキャンまたはスキップの設定ができます。



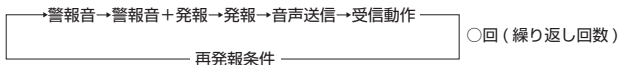
●●●●●●●●●● 緊急通報機能 ●●●●●●●●●●

緊急な状況が発生した場合に緊急状態であることを知らせることができます。緊急通報を出す場合はセットモード「各種動作設定」の「短縮キー動作」で緊急を設定し、緊急通報を受信する場合は拡張セットモード「緊急動作設定」の「受信の許可禁止」で許可を選択します。「短縮」キーを約3秒押すことで自分・相手ともアラーム音がなり、個別通信時は相手に自分のIDを知らせます。自分はどう一度「短縮」キーを約3秒、相手は「PTT」キーを押すことでアラームが止まり表示が正常に戻ります。



●●●●●●●●●● 緊急動作 ●●●●●●●●●●

緊急通報機能のカスタマイズをすることができます。通常の緊急動作は自身の警報音と通信相手へ発報の30秒の動作ですが、拡張セットモード「緊急動作設定」でより細やかな設定が可能です。下記のサイクルで動作をします。



- 警報音のみ …自身で警報音を鳴らす
- 警報音+発報 …自身と通信相手の警報を鳴らす
- 発報のみ …自身は鳴らさずに通信相手のみ警報を鳴らす
- 音声送信 …周囲の音声を送信します。
- 受信動作 …相手からの音声を受信します。
- 繰り返し回数 …一通りの流れの繰り返し回数です。
- 再発報条件 …再発報するときの条件です。

動作させたい項目以外はオフにすることで、その項目はスキップできます。
 P.65

..... ショックセンサー機能

本体が傾きまたは衝撃を検知した際に緊急動作を行います。拡張セットモード「ショックセンサー機能」の「動作モード」よりオフ、転倒検出モード、振動検出モードから選択します。振動検出モードではその画面で「短縮」キーを押すと 10 秒後に動作開始します。動作モードを設定した状態の無線機に対して、遠隔操作で動作開始させることもできます。

転倒検出モード：

本機に傾きが検出された場合に緊急動作をします。
セットモード「ショックセンサー機能」の「検出方向」にてどの方向への傾き、同じセットモードの「傾斜判定角度」にてどの程度の傾きで動作させるかの設定ができます。

有効にした軸に一定の加速度 (G) を感じるとセンサーが反応します。
無線機を立てて使う場合は「前後+左右」が適しています。上下方向には常に重力加速度が掛かることになるので、上下の軸を有効にすると、反応し続けることになるためです。

無線機を寝かせて使う場合は「上下+左右」が適しています。

振動検出モード：

本機に衝撃が検出された場合に緊急動作をします。
同じセットモードの「衝撃判定強度」にてどの程度の衝撃で動作させるかの設定ができます。

注意 ・これらのセンサー機能の精度は保証していません。個体による感度のばらつきもございます。あくまで目安としてお使いください。
・実用される前に十分実験して、誤報など無いようにお使いの用途に最適であることを確認してください。

通話録音機能

拡張セットモード「録音機能」を P.52 にしたがって「録音動作設定」と「録音停止時間」を設定します。

「録音動作設定」で設定した送信または受信したときに録音が始まります。送信または受信が停止して「録音停止時間」で設定した時間が経過すると録音が停止されます。

同じセットモードの「録音データ一覧」で「▼/▲」キーで再生したい録音データを選び「機能」キーを押すことで再生することができます。(P.52)

31 件分の受信音声や送信音声を録音できます。録音可能時間は保存件数に関係なく約 35 分が上限です。

録音件数や録音時間を超えた場合、古い録音から自動的に消去されます。

録音音声を再生しているときに通話を受信した場合は、再生を停止して受信音声を出力します。

ユーザーコードの不一致や個別通信の相手ではない場合は信号を受信していても再生を継続します。

再生中に送信した場合は再生を停止します。

[録音データ一覧]			
着	UC	01:35	▲
不	個123	00:16	
発	*全局	02:10	▼
↓	↓	↓	↓
呼出形態	未再生表示	通信形態	録音時間

呼出形態

録音された通信が呼び出されたのか、または呼び出したのかを表します。状態は漢字 1 文字で以下のように表示されます。

- 着…受信のみ
- 不…受信のみ（個別通信で個別番号を指定して呼ばれたとき）
- 発…送信のみ
- 呼…送信をして応答があった場合
- 応…受信をして応答した場合

未再生表示

まだ再生していない録音には * マークが表示されます。

通信形態

録音された通信がどのような通信だったかを表します。

- UC……………ユーザーコード通信時に表示されます。
- 全局……………個別通信設定時に全局指定の呼出しを受信するか、全局指定で送信した場合に表示されます。
- グ-〇〇………個別通信設定時にグループ番号〇〇で呼出しを受信するか、グループ番号〇〇で送信した場合に表示されます。
- 個〇〇〇………個別通信設定時に個別番号〇〇〇から個別番号を指定して呼ばれるか、個別番号〇〇〇を指定して呼んだ場合に表示されます。

録音時間

録音時間が分：秒で表示されます（無通信時の無音時間は含まれません）

短縮キー動作

セットモード「各種動作設定」の短縮キー動作で、「短縮」キーを押したときの動作を選択できます。

モニター、サブ PTT、直通個別 PTT、スキャン、送信出力切替、緊急、プライベート CH、固定音量切替、最終録音再生があります。

* マークの機能はキーロック中も動作します。



- モニター* ……モニター機能 (P.33) の動作をします。
- サブ PTT* ……現在の出力設定とは別に、同じセットモードの「サブ PTT 出力」で設定した出力で送信します。
- 直通個別 PTT* ……素早く連絡を取りたい相手に送信できます。通信相手はセットモード「個別通信」の「直通相手選択」で設定します。
- スキャン ……スキャン設定されている CH をスキャンします。
- 送信出力切替 ……押す毎に送信出力を切り替えることができます。
- 緊急* ……3 秒押し続けると緊急通報機能が動作します。
- プライベート CH ……プライベート CH (P.35) に切り替えます。
- 固定音量切替 ……音量を一時的に固定化します。固定化させる音量はセットモードの「固定音量レベル」で設定した値です。
- 最終録音再生 ……最後に録音されたデータを再生します。

注意 ・デュアルオペレーションモードのときはサブ CH 送信動作となりません。

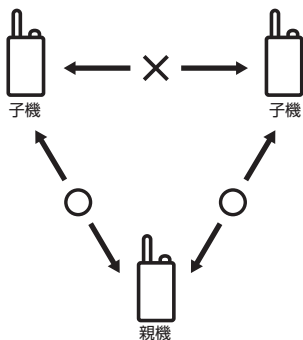
..... 子機間通話禁止機能

親機と子機間のみ通信可能にし、子機どうしの通信はできません。
 (子機設定のときはディスプレイに「子機アイコン」が点灯します)
 子機同士を通話できなくさせることで、管理者(親機)が子機を指揮しやすくする通話方法です。子機同士が話した間違っただ情報が拡散するのを防ぐ等のメリットがあります。

セットモード「通信設定」の「親機子機切替」で設定します。

「親機子機切替」は拡張セットモードの項目です。(P.48)

親機は複数設定でき、親同士は通信可能です。



この機能を使わないときは全ての無線機を親機に設定してください。

参考

受信音質調整機能

受信音声の音質を調節できます。
聞き取りやすいと感じるように設定してください。

セットモード「受信設定」の「低音域抑制」、「高音域抑制」それぞれで抑制レベルを設定します。



受信低下通知機能

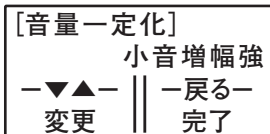
受信信号が弱くなったらピープ音で知らせます。通話できなくなる可能性を事前に知らせてくれる機能です。

セットモード「通知/警告設定」の「受信低下通知」で設定します。



受信音量一定化機能

送り手により異なる声の大きさを一定化してからスピーカやイヤホンに出力することで、音声を聞き取りやすくします。セットモード「受信設定」の「音量一定化」で設定します。



大音抑制



小音増幅弱



小音増幅強



参考

・小音増幅時には、自動的に大音抑制機能も動作します。

..... ノイズキャンセル機能

音声以外のノイズを除去して音声の明瞭度を上げる機能です。

イベント会場や工場内、機械室内など騒音の大きい環境で効果があります。セットモード「送信設定」の「ノイズキャンセル機能」で設定します。

[ノイズキャンセル機能]

効果○

—▼▲— || —戻る—
変更 || 完了



- ノイズキャンセル機能は、本体正面の音声マイクで受けた音声と本体下部のノイズマイクで受けたノイズと比較して、ノイズ成分を打ち消すような音声波形を当ててノイズを取り除く処理です。ノイズ抑制機能とは別の機能です。

注意

- 本体下部のノイズマイクを塞がないよう注意してください。
- 最適な効果が得られるのは口とマイクの距離が5cm程度離れている状態です。
- 突発的な物音などはノイズキャンセルできません。
- 騒音が少ない場所では、送信音声小さくなったり、歪んだりすることがあります。その場合はノイズキャンセル機能をオフにすることをおすすめします。
- 効果大に設定しても効果が感じられない場合があります。

..... ノイズ抑制機能

音声に含まれるノイズ成分を抑えて音声を際立たせる機能です。

セットモード「送信設定」の「ノイズ抑制機能」で設定します。

「ノイズ抑制機能」は拡張セットモードの項目です。

[ノイズ抑制機能]

オン

—▼▲— || —戻る—
変更 || 完了



- この機能は、マイクに入った音声をデジタル処理してノイズ成分を抑えるもので、ノイズキャンセル機能とは異なります。

注意

- ノイズの種類によっては効果が弱く感じられることがあります。
- 雑音を抑えるまで時間がかかることがあります。
- 周囲の音を把握するような場合、本機能で音が消えてしまうため、オフにして使用してください。

VOX 動作

「PTT」キーを押して送信する代わりに、「本機に入ってきた声」に反応して自動的に送信する機能です。話しかければ自動的に送信し、話し終われば自動的に受信状態になります。

[VOX動作設定]	
通常VOX動作	
—▼▲—	—戻る—
変更	完了

セットモード「送信設定」の「VOX 動作設定」、「VOX 動作レベル」で、VOX の動作条件と動作音量を設定することができます。

「VOX 動作設定」及び「VOX 動作レベル」は拡張セットモードの項目です。

VOX 動作設定

- 通常 VOX 動作 …送受信共に、自動で切り替わります。
- 送信開始時 PTT キー …「PTT」キーで送信、話し終わると自動で受信になります。頭切れと、咳払い等での誤送信を防げます。
- 送信終了時 PTT キー …自動で送信して、「PTT」キーで受信になります。息継ぎなどで通話が途切れたり、任意のタイミングで送信を終わりたいときに便利です。



参考

- 通話中「PTT」キーを押し続けるのがわずらわしい時はセットモード「送信設定」の「PTT ホールド」を設定すると、話始めと終わりに「PTT」キーを押すだけで通話できるようになります。PTT ロック機能がない別売りのマイク類をお使いの時はロックの代わりに使えます。

・・・ デュアルオペレーションモード ・・・

メイン/サブの2つのチャンネルを交互に受信し、そのどちらとも通信することができるモードです。

拡張セットモードの「デュアルオペレーション」の「動作設定」をオンにして、同じセットモードの「メインCH設定」、「サブCH設定」を設定します。

(P.64)

待受画面のCH01で「▼」キーを押すとデュアルオペレーションモードとなり受信を開始します。

受信終了後に動作再開する時間を同じセットモードの「再開時間設定」で設定することができます。

メインCHとサブCHの切り替え時間は同じセットモードの「CH切替間隔」で設定することができます。

【動作設定】

オン
 -▼▲- || -戻る-
 変更 || 完了

送信

メインCHで送信する場合は「PTT」キーを、サブCHで送信する場合は、「短縮」キーを押します。

送受信が終了した後、再開時間の経過で交互待ち受けを再開します。

【メインCH設定】

CH01
 -▼▲- || -戻る-
 変更 || 完了

受信

メイン側を受信すると「メイン側入感あり」と表示され、「ピッ」音が鳴ります。また、サブ側を受信すると「サブ側入感あり」と表示され、「ピピッ」音が鳴ります。

【サブCH設定】

CH02
 -▼▲- || -戻る-
 変更 || 完了



参考

- ・ オプションのスピーカーマイク等で送信する場合は、外部「PTT」キーの一度押しでメイン側を、二度押しでサブ側を送信できます。
- ・ セットモードの「短縮キー動作」は一時的に無効になります。
- ・ 本機能の動作中はバッテリーセーブ機能は動作しません。設定がオンの場合通常のCHに戻すとバッテリーセーブは動作しません。

..... ショートメッセージ機能

通信相手にショートメッセージを送信できる機能です。

この機能を使用するには、受け側が拡張セットモード「ショートメッセージ機能」の「受信の許可禁止」を許可に設定している必要があります。

メッセージを送信するには拡張セットモード「ショートメッセージ機能」の「メッセージ送信」よりあらかじめ用意された4種類の文章の中から「機能」キーで選択し、もう一度「機能」キーを押すと「送信中」と表示されます。

送信が完了すると「送信完了」と表示されます。受信時は待受画面にアイコンが表示されます。

同じセットモードの「受信時自動表示」をオンにすると受信したメッセージを自動で表示します。「戻る」キーを押すと待受画面に戻れます。

受信メッセージ一覧では今までの通信記録が確認できます。保存件数は4件までです。

通信相手…個別通信時に送信相手の個別IDを表示します。

通信形態…呼び出された通信がどのような通信だったかを表示します。

UC → ユーザーコード通信時

個 → 個別通信の個別呼出時

グ → 個別通信のグループ呼出時

全 → 個別通信の全局呼出時

[受信メッセージ一覧]

---UC* 了解しま
001個 連絡くだ
001グ 出発しま▼

通信相手

通信形態

未読表示

受信内容

..... リセット

一度電源を切り「短縮」キー「戻る」キーを押しながら電源を入れると「RESET」が表示され、そこから「機能」キーを押すとご購入時の状態になります。「機能」キー以外のキーを押すとキャンセルになります。

RESET
実行 → 機能キー
中止 → その他のキー

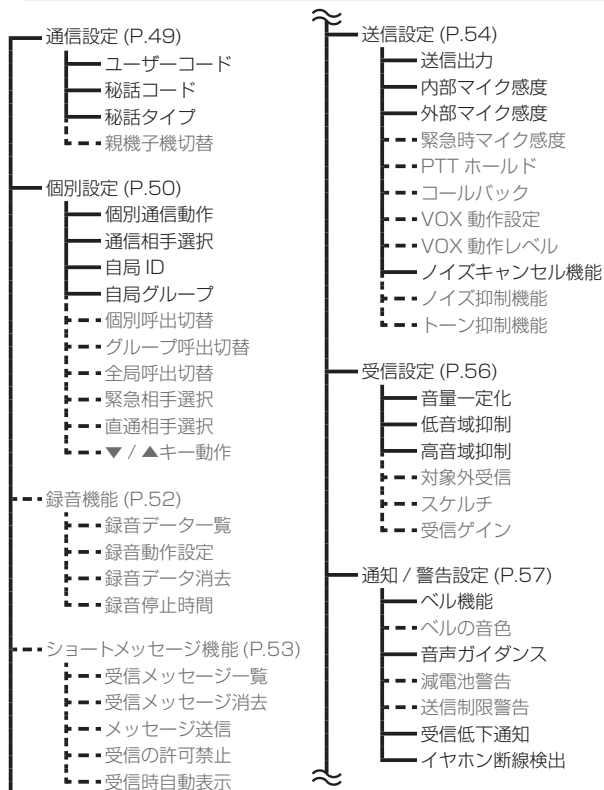


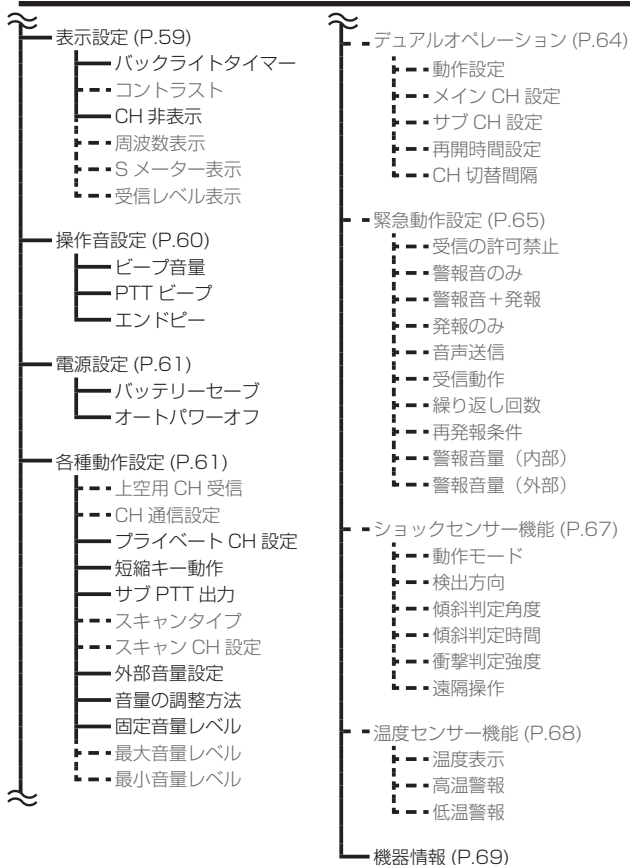
- 拡張セットモードを含めて初期化されます。
- 販売店によって納入前に各設定がプログラミングされているときは、リセットが使えないことがあります。

7

セットモード

..... セットモード一覧





・グレー表示の部分は次のページの拡張セットモードにて設定操作をすると表示され、使えるようになります。

参考

..... セットモード基本操作

本機をもっと使いやすくするために、各種機能の動作をカスタマイズできます。

■ セットモードの設定方法

- ① 待受画面で「機能」キーを押してセットモードに入ります。
- ② 「▼/▲」キーを押して設定したい項目に合わせ、「機能」キーで項目の選択をします。
- ③ 設定した項目を開いたら、「▼/▲」キーで設定値を変更します。
「▼/▲」キーで設定値を変更した時点で変更内容が反映されます。
- ④ 「戻る」キーまたは「PTT」キーでセットモードから抜けます。

■ 拡張セットモードの設定方法

- ① 一度電源をオフにして、「機能」キーを押しながら電源をオンにします。
- ② 「拡張設定有効？」と表示されます。「機能」キーを押すと拡張セットモードが有効になります。
- ③ セットモードに入ると設定項目が増えた拡張セットモードになっています。
- ④ 拡張セットモードを通常のセットモードに戻すときも同様の操作で、「拡張設定無効？」と表示されます。「機能」キーを押すと通常のセットモードになります。
拡張セットモードの設定項目を変更した場合、変更は適応されたまま通常セットモードに戻ります。拡張セットモードだけの設定項目をまとめてリセットしたり保存したりすることはできません。



・ 拡張セットモード時はセットモードに入ったときに[セットモード+]と表示されます。

..... セットモード

セットモードの設定内容の説明をします。

* マークが付いている項目は拡張セットモードの設定項目です。

■ 通信設定

● ユーザーコード

ユーザーコードを設定します。
「機能」キーを押すと桁移動をします。初期値はオフです。

オフ / 001 ~ 511



● 秘話コード

秘話通信で使用する秘話キーを設定します。
「機能」キーを押すと桁移動をします。初期値はオフです。

オフ / 00001 ~ 32767



● 秘話タイプ

強化秘話通信を使用するときを選択します。
初期値は標準秘話です。

標準秘話 / 強化秘話 01 ~ 15



● 親機子機切替*

子機間通話禁止機能を選択します。
初期値は親機です。

親機 / 子機



■ 個別設定

● 個別通信動作

個別通信機能を動作させるか選択します。初期値はオフです。

オフ / オン

[個別通信動作]		オフ
-▼▲-		-戻る-
変更		完了

● 通信相手選択

個別通信の相手を設定できます。「機能」キーを押すことで桁移動ができます。初期値は全局です。

個別 001 ~ 200 / グループ 01 ~ 10 / 全局

[通信相手選択]		全局
-▼▲-		-戻る-
変更		完了

● 自局 ID

個別通信で使用する自分用の ID を設定します。初期値は 001 です。

001 ~ 200

[自局 ID]		001
-▼▲-		-戻る-
変更		完了

● 自局グループ

個別通信で使用する自分用のグループを設定します。初期値は 01 です。

01 ~ 10

[自局グループ]		01
-▼▲-		-戻る-
変更		完了

● 個別呼出切替*

個別通信で個別呼出された後の切替動作を選択します。初期値はオフです。

オフ / 5 秒 / 10 秒 / 30 秒 / 60 秒 / 完全切替

[個別呼出切替]		オフ
-▼▲-		-戻る-
変更		完了

● **グループ呼出切替***

個別通信でグループ呼出された後の切替動作を選択します。
初期値はオフです。

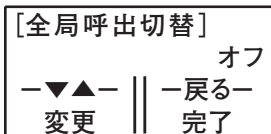
オフ / 5 秒 / 10 秒 / 30 秒 / 60 秒
/ 完全切替



● **全局呼出切替***

個別通信で全局呼出された後の切替動作を選択します。
初期値はオフです。

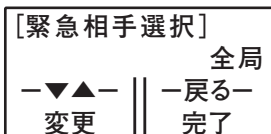
オフ / 5 秒 / 10 秒 / 30 秒 / 60 秒
/ 完全切替



● **緊急相手選択***

個別通信で緊急通報動作時の通報相手を設定します。
初期値は全局です。

無し / 個別 001 ~ 200 / グループ 01 ~ 10 / 全局



● **直通相手選択***

個別通信で「短縮」キーに直通個別 PTT を割り当てた場合の直通相手を設定します。
初期値は全局です。

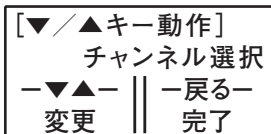
個別 001 ~ 200 / グループ 01 ~ 10 / 全局



● **▼/▲キー動作***

個別通信時の「▼/▲」キーの動作を選択します。
初期値はチャンネル選択です。

チャンネル選択 / 通信相手選択



■ 録音機能 *

● 録音データ一覧 *

録音したデータを再生できます。
「▼/▲」キーでデータを選び「機能」キーで再生します。

[録音データ一覧]		
着 UC	01:35	▲
不 個123	00:16	
発*全局	02:10	▼

● 録音動作設定 *

録音するときの動作条件を選択します。初期値はオフです。

オフ / 全て録音 / 全局通話のみ録音 / 全局+グループ録音 / 全局+個別録音 / 個別通話のみ録音 / 個別+グループ録音 / グループのみ録音

[録音動作設定]		
		オフ
—▼▲—		—戻る—
変更		完了

● 録音データ消去 *

「機能」キーを押すと録音したデータを消去できます。

[録音データ消去]		
録音を消去?		
—機能—		—戻る—
消去		キャンセル

● 録音停止時間 *

通信が終了してから何秒後に録音を停止するか選択します。停止までに通信があれば、録音は再開されます。初期値は 10 秒です。

[録音停止時間]		
		10秒
—▼▲—		—戻る—
変更		完了

1 秒 / 5 秒 / 10 秒 / 20 秒 / 30 秒

■ ショートメッセージ機能*

● 受信メッセージ一覧*

受信したショートメッセージを確認できます。

「▼/▲」キーでデータを選び「機能」キーで確認します。

[受信メッセージ一覧]	
---UC*	了解しま
001個	連絡くだ
001グ	出発しま▼

● 受信メッセージ消去*

「機能」キーを押すと受信したショートメッセージを消去できます。

[受信メッセージ消去]	
メッセージを消去?	
—機能—	—戻る—
消去	キャンセル

● メッセージの送信*

ショートメッセージを送信します。「▼/▲」キーでメッセージを選び「機能」キーで選択、もう一度「機能」キーを押すとメッセージを送信します。

[メッセージ送信]	
1:	了解しました
2:	連絡ください
3:	出発します ▼

● 受信の許可禁止*

ショートメッセージを受信させるかどうか選択します。初期値は禁止です。

禁止 / 許可

[受信の許可禁止]	
	禁止
—▼▲—	—戻る—
変更	完了

● 受信時自動表示*

ショートメッセージ受信時に自動で表示させるかどうか選択します。初期値はオンです。

オフ / オン

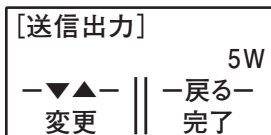
[受信時自動表示]	
	オン
—▼▲—	—戻る—
変更	完了

■送信設定

●送信出力

送信出力を選択します。
初期値は 5W です。

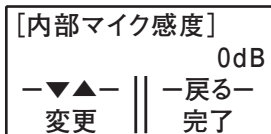
受信のみ / 1W/2W/5W



●内部マイク感度

本体内部マイクの感度を変更できません。初期値は 0dB です。

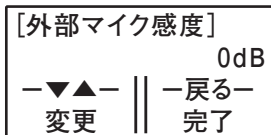
-15dB(最小)/-12dB/-9dB/
-6dB/-3dB/0dB/+3dB/+6dB/
+9dB/+12dB(最大)



●外部マイク感度

外部マイクの感度を変更できます。
初期値は 0dB です。

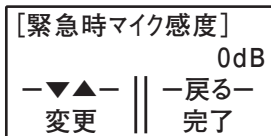
-15dB(最小)/-12dB/-9dB/
-6dB/-3dB/0dB/+3dB/+6dB/
+9dB/+12dB(最大)



●緊急時マイク感度*

緊急動作時のマイクの感度を変更できます。初期値は 0dB です。

-15dB(最小)/-12dB/-9dB/
-6dB/-3dB/0dB/+3dB/+6dB/
+9dB/+12dB(最大)



●PTT ホールド*

「PTT」キーを一度押すと送信を
継続し、もう一度押すと解除され
る機能です。初期値はオフです。

オフ / オン



● **コールバック***

送信中自分が話している声をイヤホンで聞くことができる機能です。ボリュームとは連動しません。初期値はオフです。

オフ / オン



● **VOX 動作設定***

VOX の開始終了条件を選択します。初期値はオフです。

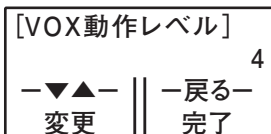
オフ / 通常 VOX 動作 / 送信開始時 PTT キー / 送信終了時 PTT キー



● **VOX 動作レベル***

VOX の動作音量を選択します。初期値は 4 です。数字が大きいかほど小さな声でも反応します。

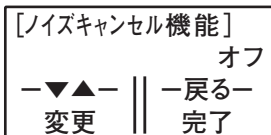
1: 大声で動作 / 2/3/4/5/6/7: 小声で動作



● **ノイズキャンセル機能**

ノイズキャンセルの強さを選択します。初期値はオフです。

オフ / 効果小 / 効果中 / 効果大



● **ノイズ抑制機能***

ノイズ抑制機能を動作させるかどうかを選択します。初期値はオンです。

オフ / オン



● トーン抑制機能*

サイレンのような一定周期で鳴る騒音を軽減します。騒音の種類によって効果は変わります。初期値はオフです。

オフ/オン



■ 受信設定

● 音量一定化

受信した音の大きさを均一化させる機能です。初期値はオフです。

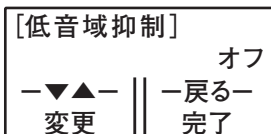
オフ/大音抑制/小音増幅弱/小音増幅強



● 低音域抑制

受信した音声の低音域を抑制する機能です。初期値はオフです。

オフ/抑制レベル弱/抑制レベル強



● 高音域抑制

受信した音声の高音域を抑制する機能です。初期値はオフです。

オフ/抑制レベル弱/抑制レベル強



● 対象外受信*

ユーザーコード通信や秘話通信設定中は他の信号が聞こえません。オンにすると設定した通信のまま設定以外の受信も可能となります。初期値はオフです。

オフ/オン



●スケルチ*

設定値を大きくすると不要な信号に対するアンテナ表示とスキャン速度低下への影響を小さくできますが、弱い信号の反応がしにくくなります。0にすると常時モニター動作となります。初期値は5です。



0~9

●受信ゲイン*

設定値を小さくすると近くで多数の無線機が使用されている場合に発生する通話への影響を軽減することができますが、通話距離は短くなります。自動は強い信号があるときだけ動作しますが誤動作することもあります。初期値はゲイン5です。



自動 / ゲイン 1(最小) / ゲイン 2 /
 ゲイン 3 / ゲイン 4 / ゲイン 5(最大)

■通知 / 警告設定

●ベル機能

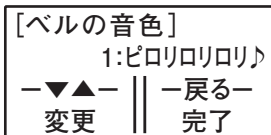
信号を受信したときにベル音とアイコンを点滅させて知らせます。初期値はオフです。



オフ / オン

●ベルの音色*

ベル機能のベルの音色を設定します。3種類の中から選択できます。初期値は1です。



1:ピロリロリ♪ / 2:ブルッブルッ♪ /
 3:ピッピッ♪

● **音声ガイダンス**

音声ガイダンスの動作条件を選択します。初期値は全てです。

オフ/CH案内のみ/音量案内のみ/
CH+音量案内/操作案内のみ/全て

[音声ガイダンス]

全て
-▼▲- || -戻る-
変更 || 完了

● **減電池警告***

電池の残量が少なくなると警告音でお知らせする機能です。

初期値は1回のみです。

オフ/1回のみ/30秒ごと/1分
ごと/2分ごと/5分ごと/10分ごと

[減電池警告]

1回のみ
-▼▲- || -戻る-
変更 || 完了

● **送信制限警告***

送信制限の5分が近いことをお知らせする機能です。

30秒前:「ピピピ」

5秒前:「ピー」

初期値はオンです。

オフ/オン

[送信制限警告]

オン
-▼▲- || -戻る-
変更 || 完了

● **受信低下通知**

受信感度が低下したときにピーブ音でお知らせする機能です。

初期値はオフです。

オフ/やや弱い時/弱い時/かなり弱い時

[受信低下通知]

オフ
-▼▲- || -戻る-
変更 || 完了

● **イヤホン断線検出**

電源を入れたときに、イヤホンが断線していたらピーブ音、音声、インジケータで知らせる機能です。

初期値はオフです。

オフ/オン

[イヤホン断線検出]

オフ
-▼▲- || -戻る-
変更 || 完了

■表示設定

●バックライトタイマー

バックライトを何秒後に消灯するか選択します。
初期値は5秒です。

消灯 / 5秒 / 10秒 / 30秒 / 60秒
/ 常灯

[バックライトタイマー]

5秒

—▼▲— || —戻る—
変更 || 完了

●コントラスト*

ディスプレイの濃さを設定します。
初期値は8です。

1 ~ 10

[コントラスト]

8

—▼▲— || —戻る—
変更 || 完了

●CH非表示

操作後の時間経過でCHなどの通信設定の表示を隠す機能です。
初期値はオフです。

オフ / 5秒 / 10秒 / 30秒 / 60秒

[CH非表示]

オフ

—▼▲— || —戻る—
変更 || 完了

●周波数表示*

CH表示の代わりに周波数を表示する機能です。初期値はオフです。

オフ / オン

[周波数表示]

オフ

—▼▲— || —戻る—
変更 || 完了

●Sメーター表示*

待受画面の下部にSメーターを表示する機能です。
電波の受信強度を確認しやすくなります。初期値はオフです。

オフ / オン

[Sメーター表示]

オフ

—▼▲— || —戻る—
変更 || 完了

●受信レベル表示

受信レベルを表示するアンテナマーク及びSメーターの動作する信号の種類を選択します。「標準」では目的の信号のみ、「拡張」ではノイズを含めたすべての信号にて動作します。初期値は標準です。



標準 / 拡張

■操作音設定

●ビーブ音量

ビーブ音量を設定します。初期値はレベル2です。

オフ / ボリューム連動 / レベル1 ~ レベル4



●PTT ビープ

送信直後に「ピッ」と鳴らして通信開始時の頭切れを防ぐ機能です。初期値は低音レベル2です。

オフ / 低音レベル1 / 高音レベル1 / 低音レベル2 / 高音レベル2 / 低音レベル3 / 高音レベル3



●エンドピー

送信終了後に「ピッ」と鳴らして送信の終わりを伝える機能です。初期値は低音レベル2です。

オフ / 低音レベル1 / 高音レベル1 / 低音レベル2 / 高音レベル2 / 低音レベル3 / 高音レベル3



■電源設定

●バッテリーセーブ

本体内部で電源を短い間隔でオンオフさせることで、待受中の消費電力を抑えバッテリーを長持ちさせる機能です。初期値はオフです。

オフ / オン

[バッテリーセーブ]

オフ
 -▼▲- || -戻る-
 変更 || 完了



デジタル通信では、無線機は自分の交信相手かどうか等を確認するデータを毎回発信します。バッテリーセーブ中にこの信号を受けると認識できず、呼び出し自体を無視することがあります。このため、特に業務ユーザーはこの設定をオフにしておくことをお勧めします。

●オートパワーオフ

電源の切り忘れを防ぐ機能です。無操作の状態が設定された時間続くと、自動的に電源が切れます。初期値はオフです。

オフ / 30分 / 1時間 / 2時間 / 3時間 / 4時間 / 5時間 / 6時間

[オートパワーオフ]

オフ
 -▼▲- || -戻る-
 変更 || 完了

■各種動作設定

●上空用CH受信*

上空用CH(S1～S5)を受信する機能です。初期値はオフです。

オフ / オン

[上空用CH受信]

オフ
 -▼▲- || -戻る-
 変更 || 完了

●CH通信設定*

CH毎に設定を保持する機能です。ユーザーコード、秘話コード、秘話タイプ、送信出力の4項目が保持されます。初期値は全CHで共通設定です。

全CHで共通設定 / 各CHで個別設定

[CH通信設定]

全CHで共通設定
 -▼▲- || -戻る-
 変更 || 完了

● **プライベート CH 設定**

プライベート CH を設定します。
初期値は CH01 です。

CH01 ~ CH30/ 上空 S1 ~ 上空 S5

[プライベートCH設定]

CH01

-▼▲- || -戻る-
変更 || 完了

● **短縮キー動作**

短縮キーに任意の機能を割り当てる
ことができます。
初期値はオフです。

オフ / モニター / サブ PTT / 直通
個別 PTT / スキャン / 送信出力切
替 / 緊急 / プライベート CH /
音量固定・連動 / 最終録音再生

[短縮キー動作]

オフ

-▼▲- || -戻る-
変更 || 完了

● **サブ PTT 出力**

「短縮」キーにサブ PTT 機能を割
り当てたときの送信出力を設定し
ます。初期値は 1W です。

1W/2W/5W

[サブPTT出力]

1W

-▼▲- || -戻る-
変更 || 完了

● **スキャンタイプ***

スキャン時に受信した場合の動作
を設定します。ビジーは受信終了
後、タイマーは受信してから設定
した秒数経過したらスキャンを再
開します。初期値はビジーです。

ビジー / タイマー 5 秒 / タイマー
10 秒 / タイマー 20 秒 / タイマー
30 秒 / タイマー 60 秒

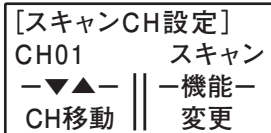
[スキャンタイプ]

ビジー

-▼▲- || -戻る-
変更 || 完了

● **スキャンCH設定***

スキャンするCHを設定します。
「▼/▲」キーでCH移動、「機能」
キーでスキャン、スキップの設定
をします。初期値は全てのCHが
スキャン状態です。



スキャン/スキップ

● **外部音量設定**

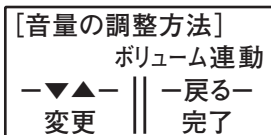
SP/MIC 端子から出力する音量を
選択する機能です。
初期値は音量中です。



音量小 / 音量中 / 音量大

● **音量の調整方法**

音量ツマミの位置に関係なく音量
を固定化する機能です。
初期値はボリューム連動です。



ボリューム連動 / 設定値に固定

● **固定音量レベル**

音量の調整方法で設定値に固定し
たときの音量を設定します。
初期値は 16 です。



0 ~ 32

● **最大音量レベル***

音量ツマミの位置に関係なく音量
の上限を決める機能です。
初期値は 32 です。



0 ~ 32

● **最小音量レベル***

音量ツマミの位置に関係なく音量の下限を決める機能です。
初期値は 00 です。

0 ~ 32



■ **デュアルオペレーション***

● **動作設定***

デュアルオペレーション機能を使うかどうかを選択します。
初期値はオフです。

オフ / オン



● **メイン CH 設定***

デュアルオペレーションで使用するメイン CH を設定します。
初期値は CH01 です。

CH01 ~ CH30 / 上空 S1 ~ 上空 S5



● **サブ CH 設定***

デュアルオペレーションで使用するサブ CH を設定します。
初期値は CH02 です。

CH01 ~ CH30 / 上空 S1 ~ 上空 S5



● **再開時間設定***

デュアルオペレーションで受信終了後に動作再開するまでの時間を設定します。
初期値は 5 秒です。

1 秒 ~ 10 秒 (1 秒ステップ)



● CH 切替間隔 *

メイン CH とサブ CH の切替間隔を設定します。
初期値は 0.5 秒です。

0.5 秒～ 2.0 秒 (0.1 秒ステップ)



■ 緊急動作設定 *

● 受信の許可禁止 *

緊急通信を受信するかどうか選択します。
初期値は禁止です。

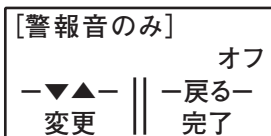
禁止 / 許可



● 警報音のみ *

緊急動作の警報音を何秒動作させるか設定します。
初期値はオフです。

オフ / 1 秒～ 60 秒 (1 秒ステップ)



● 警報音+発報 *

緊急動作の警報音+発報を何秒動作させるか設定します。
初期値は 30 秒です。

オフ / 1 秒～ 60 秒 (1 秒ステップ)



● 発報のみ *

緊急動作の発報を何秒動作させるか設定します。初期値はオフです。

オフ / 1 秒～ 60 秒 (1 秒ステップ)



●音声送信*

緊急動作の音声送信を何秒動作させるか設定します。
初期値はオフです。

オフ / 1 秒～ 60 秒 (1 秒ステップ)



●受信動作*

緊急動作の受信動作を何秒動作させるか設定します。
初期値はオフです。

オフ / 1 秒～ 60 秒 (1 秒ステップ)



●繰り返し回数*

緊急動作を何回繰り返すか設定します。
初期値は無制限です。

無制限 / 1 回～ 60 回 (1 回ステップ)



●再発報条件*

緊急動作後の再発報条件を設定します。
初期値は一度のみです。

一度のみ / 状態検出時 / 状態変化時



●警報音量(内部)*

内部スピーカーの警報音量を選択します。
初期値は最大です。

ビープ音量と同じ / ボリューム連動 / レベル 1～レベル 4 / 最大



●警報音量 (外部)*

SP/MIC 端子から出力する警報音量を選択します。
初期値は最大 (イヤホン要注意) です。

ビープ音量と同じ / ボリューム連動 / レベル 1 ~ レベル 4 / 最大 (イヤホン要注意)

[警報音量 (外部)]
最大 (イヤホン要注意)
-▼▲- || -戻る-
変更 || 完了

■ショックセンサー機能*

●動作モード*

ショックセンサーの動作モードを設定します。振動検出モードの場合は「短縮」キーを押すと10秒後に動作を開始します。
初期値はオフです。

オフ / 転倒検出モード / 振動検出モード

[動作モード]
オフ
-▼▲- || -戻る-
変更 || 完了

●検出方向*

転倒検出モードで検出する傾斜方向を設定します。初期値は前後+左右です。

左右 / 上下 / 上下+左右 / 前後 / 前後+左右 / 上下+前後 / 全方向

[検出方向]
前後+左右
-▼▲- || -戻る-
変更 || 完了

●傾斜判定角度*

転倒検出モードで検出する傾斜角度を設定します。初期値は 70.1° です。

0.0° ~ 90.0°

[傾斜判定角度]
70.1°
-▼▲- || -戻る-
変更 || 完了

●傾斜判定時間*

転倒検出モードで検出判定されるまでの時間を設定します。
初期値は 30 秒です。

0 秒 ~ 250 秒 (1 秒ステップ)

[傾斜判定時間]
30 秒
-▼▲- || -戻る-
変更 || 完了

● 衝撃判定強度 *

振動検出モードで検出判定される
衝撃の強さを設定します。
初期値は 0.11G です。

0.05G ~ 1.98G

[衝撃判定強度]

0.11G

—▼▲— || —戻る—
変更 || 完了

● 遠隔操作 *

「PTT」キーを押して通信相手の
振動検出モードを動作状態にする
機能です。
通信相手がショックセンサーの動
作モードを設定している必要があ
ります。

[遠隔操作]

→PTTで警戒開始

■ 温度センサー機能 *

● 温度表示 *

本機内部の温度を待受画面に表示
させる機能です。
初期値はオフです。

オフ / オン

[温度表示]

オフ

—▼▲— || —戻る—
変更 || 完了

● 高温警報 *

本機内部の温度が設定値以上にな
ったときに警報を鳴らす機能で
す。初期値はオフです。

オフ / -20℃以上 ~ +60℃以上
(5℃ステップ)

[高温警報]

オフ

—▼▲— || —戻る—
変更 || 完了

● 低温警報 *

本機内部の温度が設定値以下にな
ったときに警報を鳴らす機能で
す。初期値はオフです。

オフ / -20℃以下 ~ +60℃以下
(5℃ステップ)

[低温警報]

オフ

—▼▲— || —戻る—
変更 || 完了

■ 機器情報

機種名、CSM 番号、シリアル番号を表示させる機能です。

[機器情報]

MODEL DJ-DPS70

CSM XXXXXXXXXX

Ser. XXXXXXXXXX

PC 拡張機能

別売の ERW-7 ケーブルと EDS-14 変換ケーブルを使い、パソコンから設定をすることで本機の機能を拡張することができます。

詳細は、弊社ホームページ (<http://www.alinco.co.jp/> 電子機器 (無線機) → 電子事業) に掲載しています。

・ショートメッセージ機能

初期から入っているショートメッセージの内容を編集することができます。

8

保守・参考

故障とお考えになる前に

「故障かな？」と思われたら、まず以下の「処置」をお読みください。マイク類や電池類などが原因の不具合も有りますので、必ずアクセサリも点検してください。設定の間違いなどはリセットをすると回復する場合がありますが、意図した設定まで初期化されるので注意が必要です。

症状	原因	処置
電源を入れても、ディスプレイに何も表示されない。	バッテリーパックが接触不良を起こしている。	端子の汚れを清潔で乾いた布や綿棒で拭って取り除く。
	バッテリーが消耗している。	バッテリーを充電する。
スピーカーから音が出ない。受信できない。「ギャラギャラ」音が聞こえる。	音量が低すぎる。	適切な音量に設定する。
	「PTT」キーが押され、送信状態になっている。	「PTT」キーを離す。
	秘話コードが一致していない。	秘話コードを一致させる、もしくは送信側と受信側の秘話キーをOFFにする。
受信中に表示が点滅したり消えたりする。	バッテリーパックが消耗している。	バッテリーパックを充電する。
送信ができない。送信しても応答がない。	「PTT」キーが確実に押されていない。	「PTT」キーを押して、インジケータを赤く点灯させてから送信する。
	チャンネル（周波数）や通信設定が間違っている。	相手局と通信可能なチャンネル・設定に正しく合わせる。
	別のユーザーがチャンネルを使用している。	信号がなくなるのを待ってから送信する。
	出力が低く、相手に届いていない。	送信出力を今の設定よりも大きくする。
送信ができない。送信すると、表示が点滅したり消えたりする。	バッテリーパックが消耗している。	バッテリーパックを充電する。

症状	原因	処置
チャンネル(周波数)が切替わらない。	キーロックが設定されている。	キーロックの設定を解除する。
キーによる操作ができない。	キーロックが設定されている。	キーロックの設定を解除する。
表示が異常になっている。	CPU が誤動作している。	リセットする。
充電しない。	充電端子が汚れている。	充電端子の汚れを乾いた布で拭き取る。
充電スタンドの赤色ランプが点滅する。	充電スタンドの保護回路が働いている。	電池単体で充電する。充電時、無線機の電源を切る。

- 無線機の状態に異常があるとエラー表示が出ます。故障を示すエラー表示もあります。その際は、点検・修理が必要になりますので、「アフターサービスについて」をご覧くださいの上、販売店または弊社サービスセンターにご相談ください。
- 自動車やバイクなど比較的速い速度で移動する局との通信やアンテナが揺れるような状態で使用すると通話が安定しないことがあります。これは電波伝搬上の理由によるもので異常ではありません。
- 秘話や個別・グループ呼出機能を使うと通話距離が若干短くなることがありますが、異常ではありません。

※ 保護カバーなどの防水パーツは消耗品です。
 メーカーによる IP67 相当の耐塵防浸性能の保証期間は同梱の保証書と同じです。
 アフターサービスが必要な場合は、お買上げの販売店にお問い合わせください。
 最寄りの販売店の検索には、<http://www.alinco.co.jp> の「販売店のご案内」リンクをご利用ください。

- 静電気が溜まりやすい場所や服装でイヤホンやイヤホンマイクを装着するとき、耳に静電気ショックを感じる場合があります。ドアノブなどに触れて感じることもあるショックと同じで、漏電のような異常ではありません。

アフターサービスについて

■保証書

保証書は購入店名、購入日の記入（または専用ステッカー貼付けなど）と、記載の製造番号をお確かめの上、本書と一緒に大切に保管してください。記載がないときは販売店発行のレシート、納品書など購入店と購入日が証明できる書類と一緒に保存してください。購入店と購入日が証明できない場合は製品保証が無効となりますのでご注意ください。

■保証期間

同梱の保証書に記載されている期間です。

正常な使用状態で上記の期間中に万一の故障が生じた場合は、お手数ですが製品に有効な保証書を添えて、お買い上げいただいた販売店または弊社サービス窓口へご相談ください。保証書の規定にしたがって無償修理いたします。

■保証期間が過ぎたら

お買い上げいただいた販売店または弊社サービス窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有償で修理いたします。

アフターサービスや製品に関するよくあるご質問は「アルインコ 電子FAQ」をキーワードにネット検索してください。

ご不明な点がありましたら、お買い上げいただいた販売店または弊社サービス窓口へご相談ください。

■製造終了製品に対する保守年限に関して

弊社では製造終了後も下記の期間、製品をお使い頂けるように最低限必要な補修用部品を常備しています。ただし不測・不可抗力の事態により在庫部品に異常が発生したような場合はアフターサービスをご提供できなくなることもありますので、あらかじめご了承ください。

補修部品の保有期間は、生産終了後 **5** 年です。

■注意事項

- ・改造、分解されたり銘板やラベル類が剥がされた製品は、修理をお断りすることがあります。
- ・修理見積りや保険用の証明書類の発行は、一部有償です。
- ・本製品には明確に定められた製品寿命はありません。

9

オプション一覧

EBP-98	リチウムイオン充電電池パック (7.2V 2200mAh)
EBP-99	リチウムイオン充電電池パック (7.2V 3200mAh)
EDC-214R	シングル充電スタンド (連結仕様)
EDC-215	AC アダプター (1 台充電用)
EDC-188	AC アダプター (連結充電用)
EDH-41	防水仕様 乾電池ケース
EMS-62	IP54 相当スピーカーマイク
EMS-71	IP67 相当防水スピーカーマイク (イヤホンジャック無し)
EME-32A	カナル型イヤホンマイク (PTT ロック付)
EME-48A	耳かけ型イヤホンマイク (PTT ロック付)
EME-62A	咽喉マイク
EME-63A	ヘルメット用ヘッドセット
EME-64A	ヘッドセット
EHC-70	ハードケース
EDH-43	外部電源端子アダプター (12V,24V)
EDS-14	2ピン型マイクプラグ変換ケーブル
EA-248	ロングアンテナ
EA-247	ミドルアンテナ
EBC-46	ベルトクリップ

【ご注意】

- スピーカーマイクでは VOX 機能は使えません。ヘルメット用ヘッドセットはバイク用や特殊形状のヘルメットには使えません。EDS-14 の 2ピンプラグ連結部分は防水ではありません。
- EME-36A,59A,65A,69A,70A の各イヤホンマイクもお使いになれますが、レジャーやホビーユーザー向けの消耗品です。
業務でお使いのときは、必ず上記の業務仕様をお求めください。頑丈なうえ、故障しても買い替えるより安く修理ができます。

- EBP-98、EBP-99 は無線機に正しく装着された場合にのみ IP67 相当の耐塵防浸保護が機能します。故障の原因に直結するので、単独の状態では絶対に水に濡らさないでください。

10**定格****■一般仕様**

送信周波数	351.20000 ~ 351.38125MHz 30ch
受信周波数	351.16875 ~ 351.38125MHz 30ch+5ch (上空用チャンネル S1 ~ S5)
電波型式	F1C F1D F1E F1F
アンテナインピーダンス	50 Ω
定格電圧	7.2V
消費電流	2.0A 以下 (送信時: 5W) 1.2A 以下 (送信時: 2W) 0.9A 以下 (送信時: 1W) 500mA 以下 (受信時) 130mA 以下 (待受時)
外形寸法 (突起物除く) W × H × D	55.8 × 95.8 × 32.5mm EBP-98 装着時 55.8 × 95.8 × 40.7mm EBP-99 装着時
質量 (ミドルアンテナ装着時)	約 244g (EBP-98 装着時) 約 266g (EBP-99 装着時)
使用温度範囲	- 20℃ ~ + 60℃
送信出力	5W/2W/1W (偏差: + 20%、- 50%)
変調方式	4 値 FSK
受信感度	- 5dBu (BER1 × 10 ⁻²)
低周波出力 (最大時)	700mW 以上

■参考

長さ	ミドルアンテナ 100mm ロングアンテナ 220mm	
充電時間	EBP-98(2200mAh) 装着時 約 3 時間 EBP-99(3200mAh) 装着時 約 4 時間	
運用時間 (*1)	バッテリーセーブ有効時	バッテリーセーブ無効時
EBP-98(2200mAh) 装着時	約 15 時間	約 11 時間
EBP-99(3200mAh) 装着時	約 21 時間	約 16 時間

(*1) 送信出力 5W 時、送信 5、受信 5、待受 90 の繰り返し。

11

付録

■ 設定初期値一覧表

通信設定	
ユーザーコード	オフ
秘話コード	オフ
秘話タイプ	標準秘話
親機子機切替 *	親機

個別設定	
個別通信動作	オフ
通信相手選択	全局
自局 ID	001
自局グループ	01
個別呼出切替 *	オフ
グループ呼出切替 *	オフ
全局呼出切替 *	オフ
緊急相手選択 *	全局
直通相手選択 *	全局
▼ / ▲キー動作 *	チャンネル選択

録音機能 *	
録音データ一覧 *	-
録音動作設定 *	オフ
録音データ消去 *	-
録音停止時間 *	10 秒

ショートメッセージ機能 *	
受信メッセージ一覧 *	-
受信メッセージ消去 *	-
メッセージ送信 *	-
受信の許可禁止 *	禁止
受信時自動表示 *	オン

送信設定	
送信出力	5W
内部マイク感度	0dB
外部マイク感度	0dB
緊急時マイク感度 *	0dB
PTT ホールド *	オフ
コールバック *	オフ
VOX 動作設定 *	オフ
VOX 動作レベル *	4
ノイズキャンセル機能	オフ
ノイズ抑制機能 *	オン
トーン抑制機能 *	オフ

受信設定	
音量一定化	オフ
低音域抑制	オフ
高音域抑制	オフ
対象外受信 *	オフ
スケルチ *	5
受信ゲイン *	ゲイン 5

通知 / 警告設定	
ベル機能	オフ
ベルの音色 *	1
音声ガイダンス	全て
減電池警告 *	1 回のみ
送信制限警告 *	オン
受信低下通知	オフ
イヤホン断線検出	オフ

表示設定	
バックライトタイマー	5 秒
コントラスト *	8
CH 非表示	オフ
周波数表示 *	オフ
S メーター表示 *	オフ
受信レベル表示 *	標準

操作音設定	
ビーブ音量	レベル 2
PTT ビーブ	低音レベル 2
エンドビー	低音レベル 2

電源設定	
バッテリーセーブ	オフ
オートパワーオフ	オフ

各種動作設定	
上空用 CH 受信 *	オフ
CH 通信設定 *	全ての CH で共通設定
プライベート CH 設定	CH01
短縮キー動作	オフ
サブ PTT 出力	1 W
スキャンタイプ *	ビジー
スキャン CH 設定 *	スキャン (全 CH)
外部音量設定	音量中
音量の調整方法	ボリューム連動
固定音量レベル	16
最大音量レベル *	32
最小音量レベル *	0

デュアルオペレーション *	
動作設定 *	オフ
メイン CH 設定 *	CH01
サブ CH 設定 *	CH02
再開時間設定 *	5 秒
CH 切替感覚 *	0.5 秒

緊急動作設定 *	
受信の許可禁止 *	禁止
警報音のみ *	オフ
警報音 + 発報 *	30 秒
発報のみ *	オフ
音声送信 *	オフ
受信動作 *	オフ
繰り返し回数 *	無制限
再発報条件 *	一度のみ
警報音量 (内部) *	最大
警報音量 (外部) *	最大 (イヤホン要注意)

ショックセンサー機能 *	
動作モード *	オフ
検出方向 *	前後 + 左右
傾斜判定角度 *	70.1°
傾斜判定時間 *	30 秒
衝撃判定強度 *	0.11G
遠隔操作 *	-

温度センサー機能 *	
温度表示 *	オフ
高温警報 *	オフ
低温警報 *	オフ



参考

* マークが付いている項目は拡張セットモードの設定項目です。

- 仕様・定格は予告なく変更する場合があります。
- 本書の説明用イラストは、実物とは状態や形状が異なる、一部の表示を省略している、等の場合があります。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは禁止されています。乱丁・落丁はお取り替え致します。

RoHS



ALINCO **アルインコ株式会社** 電子事業部

東京営業所 〒103-0027 東京都中央区日本橋2丁目3番4号 日本橋プラザビル14階 TEL.03-3278-5888
 大阪営業所 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4丁目4番9号 淀屋橋ダイビル13階 TEL.06-7636-2361
 福岡営業所 〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東2丁目13番34号 エコービル2階 TEL.092-473-8034

アフターサービスに関するお問い合わせは

お買い上げの販売店または、フリーダイヤル ☎0120-464-007

全国どこからでも無料で、サービス窓口につながります。

受付時間 / 10:00 ~ 17:00 月曜~金曜 (祝祭日及び 12:00 ~ 13:00 は除きます)

ホームページ <http://www.alinco.co.jp/> 「電子事業」をご覧ください。

DJ-DPS70 DCR-PRO仕様 エアクローン操作説明書

DJ-DPS70のうち「DCR-PRO」と印字されたラベルが正面上部に貼られたもの、または製造番号がM1かM2から始まるものはマスター機のセットモード項目やユーザーコードなどの設定を全て、任意の台数の子機に一度で無線クローンできる「エアクローン」機能を搭載しています。多数の無線機を同じ設定にして使うことが多い業務ユーザーには大変便利な機能です。尚、M2の製造番号から始まるものはACSH、接客モードなどの追加機能を含む最新のバージョンです。本書のリンクのすぐ下、「DJ-DPS70の追加機能について」も合わせてご覧ください。

【対応機種の見分け方】

- ・「機能」「▼」「戻る」の3つのキーを同時に押したまま電源を入れます。機種名表示の後に指を放して“【エアクローン】短縮長押しで送信[CH**]“、が表示されたら対応機種です。
- ・何も出ない、または「まだ～～」のようなメッセージが出るものは未対応です。未対応のロットについては本書の最後に更新のご依頼方法を記載しています。

= 重要 =

- ・15chは呼び出しチャンネルです。エアクローン時の送信チャンネルとして絶対に使わないでください。エアクローン時のデータ送信出力は1Wです。しっかりと電波が届く範囲にあるS70なら何台でも同時にクローンできます。総合通信局は、デジタル簡易無線登録局のデータ通信には26～30chの使用を推奨されています。

【操作方法】

- ・マスター機にする1台に、必要な設定を行います。編集用ソフト「DJ-DPS70 クローンユーティリティ」と別売ケーブルERW-23、またはERW-7とEDS-14を使うと顧客ごとの設定データ管理ができます。
- ・クローンに掛かる時間は45～50秒程度です。予め、最低限の通信ができる程度の充電をしておきます。
- ・机の上に並べてそのすぐ前から操作するような距離であれば、子機側のアンテナは接続しなくても構いません。
- ・マスター機も子機も全て、「機能」「▼」「戻る」の3つのキーを同時に押したまま電源を入れ、機種名表示の後に指を放して“【エアクローン】短縮長押しで送信[CH**]“、を表示させます。
- ・▼▲キーを使って親機、子機とも同じ空きチャンネルの番号に合わせます。
- ・子機側は何もしません。マスター機の「短縮」キー（PTTの下のキー）を2秒間程長押しすると送信が始まり、「データ送信中」「データ受信中」と、進行状態が表示されます。
- ・クローンが成功するとマスター機は「データ送信完了」、子機は「データ受信完了」を表示してピープ音を2回鳴らします。子機の電源を入れなおして設定が正しくクローンされているか

確かめます。作業が終わったら電源を切ります。

【エラーについて】

- ・マスター機の送信中に再度短縮キーを長押しすると、クローンを中止できます。
- ・クローンが中断されたり失敗したりした子機は「データ受信失敗」と表示されます。改めてマスター機の短縮キーを長押しして送信すると、最初からクローンを再開します。短縮キーを押すタイミングによっては子機が反応しなかったり、ビープ音が鳴ったりすることがありますが異常ではありません。少し間をおいてリトライしてください。
- ・失敗した状態で子機の電源を切り、再度電源を入れると「受信失敗したからもう一回最初から送り直してください」と表示されます。マスター機の短縮キーを長押しすると最初からクローンを再開します。
- ・エラー状態の子機でも、電源を切って「短縮」と「戻る」キーを同時に押しながら電源を入れて「機能」キーを押すリセットをすれば初期状態で起動します。クローンエラーが無線機の故障の原因になることはありません。

DJ-DPS70 シリーズ 設定項目の追加

お客様に、より一層 DJ-DPS70 シリーズを便利にお使いいただくために下記の新機能を追加いたしました。以下の操作をすると対応機かどうか分かります。旧仕様の DJ-DPS70 をプログラム更新される可能性もあるため、製造番号などで判別するより早く、簡単で確実です。

- ・キーロック（鍵のアイコンが表示中）してあれば、「戻る」キーを長押しして解除する。
- ・電源を切り、PTT キーの下にある「短縮キー」を押したままで電源を入れなおす。
- ・画面に「ACSH モード」と表示されたら短縮キーを放して、電源を切る。

ACSH 表示が出たら最新の状態です。

この機能追加は不具合の修正ではありません。未対応の DJ-DPS70 でこれらの追加機能をお使いになりたいときは、運賃のみ往復実費をご負担いただければ無償で無線機内のプログラムを更新いたします。ご依頼方法は本書の末尾をご覧ください。

弊社電子事業部HPからダウンロードできる編集ソフト Clone Utility も新しいバージョンをご用意しています。ソフトのバージョンに関係なく読み出し・書き込みしても故障はしませんが、新ソフトで新しい機能設定をしても、対応しない個体には反映されません。逆に更新後の個体でも、旧ソフトでは新機能設定はできません（共通の項目のみ編集できます）。新しい編集ソフトをインストールする前に、旧バージョンをウィンドウズOSから削除してください。

ビジーアラーム

セットモード「通知/警告設定」の最後に追加

ユーザーコードや通信モードが一致せず受信音声は出ていなくても、そのチャンネルで強い電波（キャリアセンスがかかる強さ）を受信している時に、ビープ音でお知らせする機能です。別のユーザーグループが同じチャンネルで通話していることが分かりやすくなります。ビープが鳴っているときはキャリアセンスが働いている可能性が高く、PTT を押しても送信できないことがあります。スピーカーから音が出る信号を受信しているときは、ビジーアラームは鳴りません。音量はセットモード「操作音設定」の「ビープ音量」で、他のビープ音と同じレベルに設定できます。ビープ音量が「オフ」設定の時はビジーアラームも鳴りません。

●ビジーアラーム

オフ / 1 秒ごと ～ 30 秒ごと / 入感時と消感時

- ・秒数設定は、その間隔ごとに受信信号の有無を確認し、強い電波があればビープ音が鳴ります。

入感している間は設定秒数ごとに何度でも鳴ります。

- ・「入感時と消感時」は、強い電波の入感時にピポ↑、消感時や弱まった時にポピ↓とそれぞれ一度だけ鳴ります。入感時間の長短にかかわらず、秒数設定の様に複数回鳴ることはありません。

ビジーアラームがしばしば鳴って送信しにくい状態が続くときは、別の空いているチャンネルに移ることをお勧めします。

エンドピピ®

セットモード「操作音設定」の「エンドピー」項目の最後に追加

通話終わりを知らせる「エンドピー機能」の進化形です。相手が送信を終わった時に、最後に受信した信号の強度に応じて、強い時は「ピッ」、通話ができるレベルなら「ピピッ」、通話が不安定になりそうなときは「ピピピッ」、信号が途中で切れたか、弱くて通話が困難なレベルなら「ピー」と鳴ってお知らせします。いわば「耳で聞くアンテナマーク」です。「エンドピピ」を選択すると動作します。音量はセットモード「操作音設定」の「ビープ音量」で、他のビープ音と同じレベルに設定できます。ビープ音量が「オフ」設定の時はエンドピピも鳴りません。

●エンドピー

オフ/低音レベル 1/高音レベル 1/低音レベル 2/高音レベル 2/低音レベル 3/高音レベル 3/エンドピピ

ACSH モード

既に使用している無線機のチャンネルとユーザーコードを探知して DJ-DPS70 に同じ設定をする機能で、キー操作による設定を省略できます。子機（設定される側）が ACSH 対応している必要があります。 送信元になる親機は、下記の条件を満たすデジタル簡易無線登録局 3R の AMBE コーデック機であれば、メーカーや機種を問わず使えます。

[ACSH ができない状態、条件]

- ・ 秘話設定：秘話通信の性質に配慮して、秘話設定は ACSH しない仕様です。
- ・ CH15：呼び出しチャンネルで、通話には使えません。他のチャンネルを選んでください。
- ・ 上空用 3S のチャンネル：本機では受信専用です。3S の親機は ACSH できません。
- ・ 個別呼び出しモード：設定元の無線機が個別呼び出しモードのときは ACSH できません。

[重要：ACSH 操作の前にお読みください]

- ・鍵のアイコンが表示されキーロックされている子機は、ACSH する前に「戻る」キーを長押しして解除しておいてください。ロック中はキー操作が無効になり、「ACSH モード」は表示されません。チャンネル番号やユーザーコードは子機ごとにばらばらでも構いません。(リセットしておく必要はありません。)
- ・ACSH 操作は外来電波による誤作動を防ぐため、近距離で行ってください。自動設定中は電源を切らないでください。机の上に並べてそのすぐ前から送信する程度の近距離であれば、受信側の子機のアンテナは不要です。アンテナをつなぐ手間が省け、外来電波も受信しません。
- ・ACSH モードは 1 分経つと誤設定を防ぐため自動的に電源が切れます。多数の子機を ACSH する時は複数回に分けたり、複数の人で作業したりするなどの手順が必要になります。まず 1 台で正しく完了することを確かめてから、多数の子機を操作することをお勧めします。
- ・ACSH は 完了時、使用中の誤操作を防ぐため自動でキーロックします。後から手動でキー操作をするときも「戻る」キーを長押ししてキーロックを解除してください。もう一度同じ操作をするとキーロックできます。
- ・ACSH が完了するまで最長で 30 秒程度かかります。事前にバッテリーパックの充電残量を確認してください。
- ・親機を 30 秒程度連続送信するのでセットモードで予め PTT ホールド機能をオンにしておくか、イヤホンマイクに付いていれば PTT ロックを使うと楽に作業ができます。
- ・リセットすると ACSH で自動設定した内容も全て消去されます。

■ACSH モードの操作

※ キーロックが解除されていることを確かめたうえで操作してください。

① PTT キーの下にある 短縮キーを押しながら子機の電源を入れてください。

画面に「ACSH モード」と表示されたら短縮キーを放してください。

② 「アクシュモードです、設定元のトランシーバーを送信してください」

と音声でお知らせして、電波を探し始めます。ACSH したい子機全てに同じ操作をします。

③ 準備ができたなら設定元となるトランシーバーで送信します。話す必要はありませんが、全ての子機の ACSH が終わるまで送信状態にします。正常に終了すると「自動設定が完了しました。」とお知らせした後、キーロック状態になります。

ACSH 設定できなかったときは「ACSH の設定ができませんでした」とお知らせした後に電源が切れます。電波を探知中に電源が切れると ACSH を中止します。ACSH できなかった個体は、親・子いずれも電源を入れなおすと ACSH 設定前の状態で正常に起動するので、必要に応じて再度①から操作してください。リセット操作は不要です。

接客モード

イヤホンマイクを装着時に、簡単な動作で受信音量を小さくする機能です。従来の「ミュート」機能やボリュームで小さくするより素早く操作でき、セットした時間が過ぎると自動で元の音量に戻るの、戻し忘れが無くなります。

【ご注意】

咽喉マイクや他社製イヤホンマイクなど、対応しないアクセサリもございます。弊社製でもスピーカーマイクでは[タッチ]と[ボイス]は動作しません。DJ-DPS70 本体のマイクも接客モードに対応しません。動作中は DJ-DPS70 のインジケータが水色に点灯します。

● 接客モード

セットモード「各種動作設定」の最後に下記の 5 項目が追加されています。

[接客モード]

どのモードを使うか選択します。初期値はオフ(使わない)です。

オフ/ ハンド/ タッチ/ ボイス

・ハンド： イヤホンマイクの PTT キーを短く押すと受信音量が小さくなります。設定時間を超えるか、もう一度 PTT キーを短く押すと解除されます。

・タッチ： イヤホンマイクを軽くたたくと受信音量が小さくなります。設定時間を超えるか、もう一度マイクをたたくと解除されます。

・ボイス： ・送信していないとき、イヤホンマイクに自分の声が入っている間は受信音量が小さくなり、声がなくなると元の音量に戻ります。

いずれのモードも送信するときは PTT キーを操作します。VOX または PTT ホールド機能を使う設定では、接客モードは動作しません。

[接客ボイス感度]

接客モードのボイスで、受信音量を小さくさせるときの声の大きさを設定します。

数値が大きいほど小さな声にも反応します。初期値は 4 です。環境音大きい場所では数値を小さく設定してお試しください。この調整をしても騒音に反応して誤動作するような場所ではボイスモードはお使いになれません。

オフ / 1 (大声で動作) / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 (小声で動作)

[接客タッチ感度]

接客モードのタッチで、受信音量を小さくさせるときのタッチの強さを設定します。「高い」は軽く叩くだけで反応します。初期値は標準です。

低い/ 標準/ 高い

[接客復帰時間]

接客モードのハンドとタッチで受信音量を小さくしたときの継続時間を設定します。初期値は15秒です。設定した時間が経過すると自動で元の音量に戻ります。

5秒/10秒/15秒/30秒/60秒

[接客ボイス保持]

接客モードのボイスで自分の話し声がなくなった後、何秒後に元の音量に戻るかを選択します。初期値は3秒です。

1秒/2秒/3秒/4秒/5秒

対応していない製品の更新について

機能追加前の DJ-DPS70 でも、プログラムを更新するとこれらの機能がお使いいただけるようになります。不具合の修正では無いため、希望される方のみが無償で更新サービスをご提供します。但し弊社大阪サービスセンターの往復運賃（往路は任意の宅配元払い、復路は佐川急便の着払い）はお客様にご負担いただきます。この更新は、前回の「DCR-PRO」仕様（エアクロン機能の追加）も自動的に含まれます。今回の機能追加だけを行うことはできません。

【重要：ご依頼前に必ずお読みください】

- PTT キーの下にある「短縮キー」を押したままで電源を入れ、画面に「ACSHモード」が表示されないことを必ず確認してからご依頼ください。
- 業務ユーザーの無線機管理に配慮して、通常の修理点検をご依頼時に「最新プログラムに更新」と事前にご連絡を頂かないときは、変更は致しません。
- 5台以上まとめて送られるときは事前に下記のサービスセンターに納期をご相談ください。

- ・更新後、サービスセンターでは簡単な動作テストしか行いません。測定器を通して性能を確認することはせず、更新が反映されている事と、最低限の送受信ができる事のみ点検します。送受信できないなど明確な故障があればご連絡します。それ以上のサービスは保証（無償：保証書の提示が必要）または有償の点検修理扱いになります。
- ・更新に関する印刷した取扱説明書、更新したことが分かる銘板、ラベルはありません。

[お送りいただくもの]

① 正常に動作している DJ-DPS70 本体のみ：

バッテリーパック、アンテナ、ベルトクリップなどの付属品は一切お送りにならないでください。不具合のある製品は通常の修理点検を承ったうえで更新します。

② 以下を記入したメモ：

「最新のプログラム更新希望」、ご返却先の住所、氏名（法人の時はご担当者名も）、平日の10～17 時頃につながる電話番号、佐川急便の宅配が受け取りやすい時間帯または曜日（日時はサービスセンターと事前打ち合わせをされた場合を除いて指定不可）

※ 「プログラム更新希望」の旨を必ず明記願います。

何も書かれていないと一般の点検依頼扱いになり、プログラム更新せずにご返却します。

不審な点が無いかぎり、こちらからお客様にご連絡することはありません。事情にかかわらず、有償点検の場合は既定の技術料をご請求しますので、十分ご注意ください。

※ 保証書は不要です。不具合が有った時だけ、有効な保証書をお持ちかどうか、こちらからご連絡することがあります。

[送り先]

〒541-0043 大阪府大阪市中央区高麗橋（こうらいばし）4-4-9

淀屋橋ダイビル 13F

アルインコ電子サービスセンター 「DPS70 A C S H更新係」宛て

☎：0120-464-007

（お問い合わせ：平日 10～12、13～17 時、お盆と年末年始は休業致します。）

以上